

第 3 回 茨木市総合交通戦略策定協議会

市民アンケート調査結果（全体版）

平成 25 年 1 月 29 日 茨木市

1.1 アンケートの概要

1) 調査目的

- 茨木市民の交通利用実態を把握するとともに、現在及び将来の公共交通に対する課題やニーズを把握し、茨木市の総合交通戦略を策定するうえで、将来の交通体系の基本的な方向性をはじめ、具体施策や施策の優先度等を検討するための基礎資料とすることを目的に実施した。

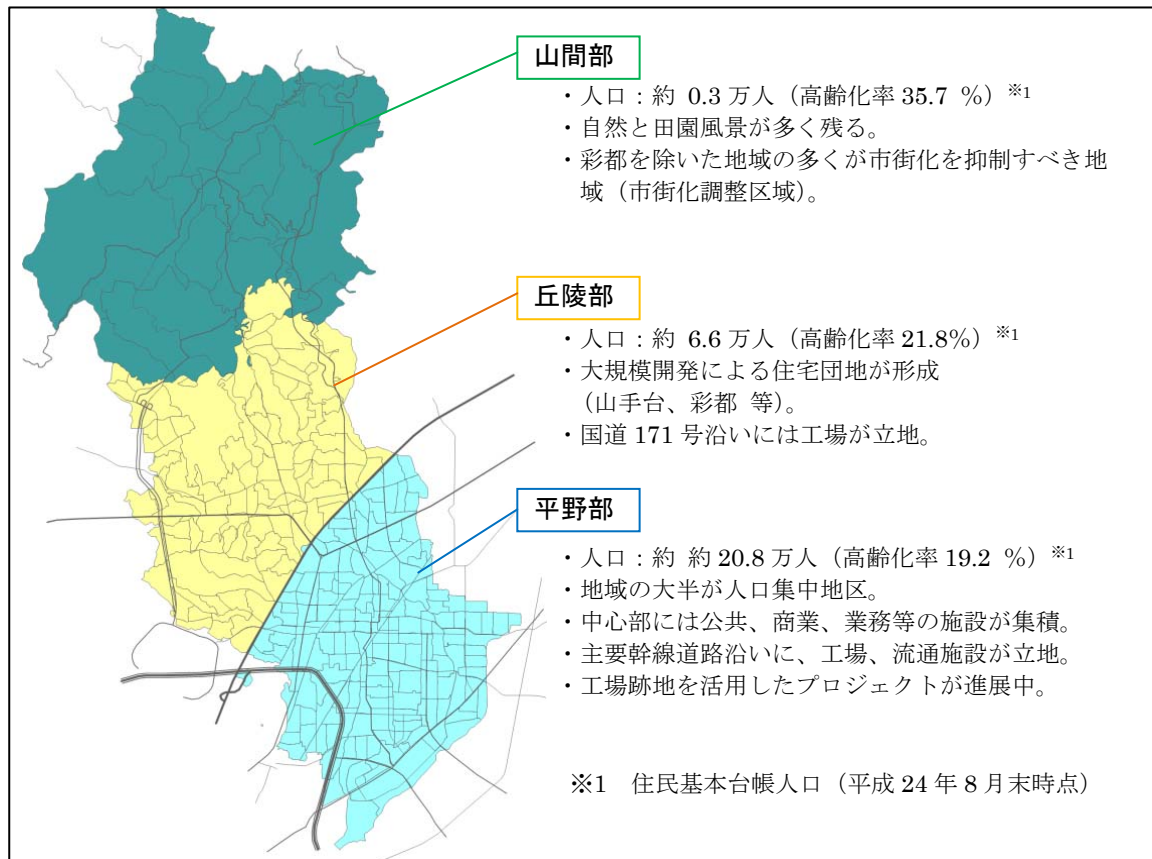
2) 調査概要

- 調査概要は以下のとおりである。

	概 要
● 名称	・茨木市の交通に関するアンケート
● 調査対象	・16 歳以上の茨木市民 5,000 人を対象。
● 配布数	・市域を 3 地域に区分し、それぞれで必要な配布数を設定した。 ・全市：5,000 票 － 山間部 1,000 票 － 丘陵部 2,000 票 － 平野部 2,000 票 ※設定根拠は、次頁による。
● 調査日	・郵送配布、郵送回収
● 調査日	【配布日】 平成 24 年 10 月 31 日（水） 発送 【回収日】 平成 24 年 11 月 16 日（金） 投函締切 ※発送日より 2 週間程度を目安に設定した
● 送付物	・アンケート依頼文 A4 片面 1 枚（※参考資料 1） ・調査票 A3 両面 2 枚（※参考資料 2） ・返信用封筒 長形 3 号 1 枚
● 回収目標数	・全市：1,100 票程度（回収率 22%） － 山間部 300 票（回収率 30%） － 丘陵部 400 票（回収率 20%） － 平野部 400 票（回収率 20%）
● 回収状況	・全市：2,088 票（回収率 42%） － 山間部 458 票（回収率 46%） － 丘陵部 830 票（回収率 42%） － 平野部 774 票（回収率 39%） － 不 明 26 票 ※平成 24 年 11 月 21 日回収時点

【参考】地域別の配布数の設定

- ・以下に示す地域特性が異なる3地域に区分し、統計上有意なサンプル数が確保できるよう、配布数を決定した。



※上記区分はアンケート実施のための設定であり、今後の協議会での議論を踏まえ、交通戦略として必要な地域区分を設定するものとする。

図 アンケート配布での地域区分

表 地域区分別の設定配布数

地域区分	15歳以上人口	必要サンプル数	想定回収率	必要配布数	設定配布数	想定回収数
山間部	2,649	336	30%	1,120	1,000	300
丘陵部	55,392	382	20%	1,910	2,000	400
平野部	176,553	384	20%	1,920	2,000	400
合計	234,594	1,102	—	4,950	5,000	1,100

※住民基本台帳人口は5歳階級別のため、15歳以上人口で設定した。

※必要サンプル数は統計上の数式による。

※アンケートの設問数が多いため、過去の実績と比較し、低めに回答率を設定した。

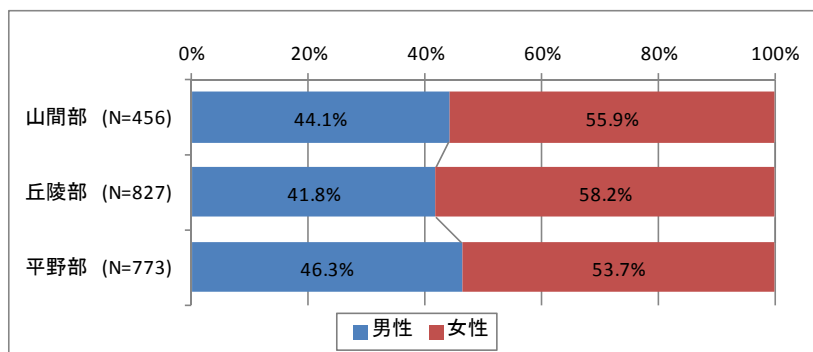
※一般的に高齢者のアンケート回答率は高いため、山間部の回収率を高めに設定した。

1.2 アンケート結果

1) 回答者の属性等

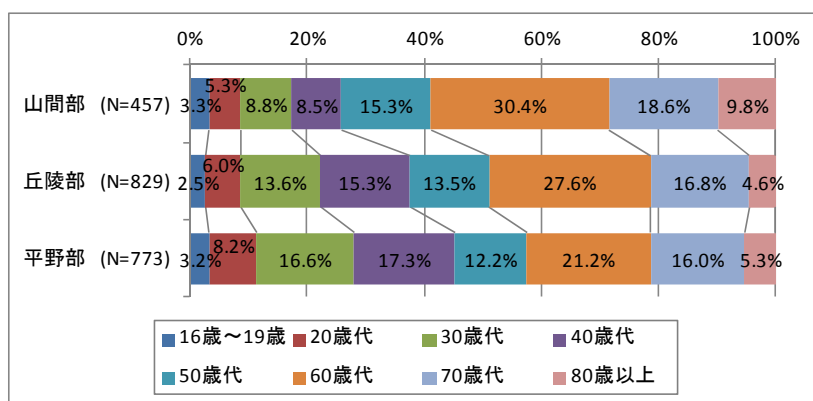
① 性別

- ・「女性」の回答がやや多い傾向にある。



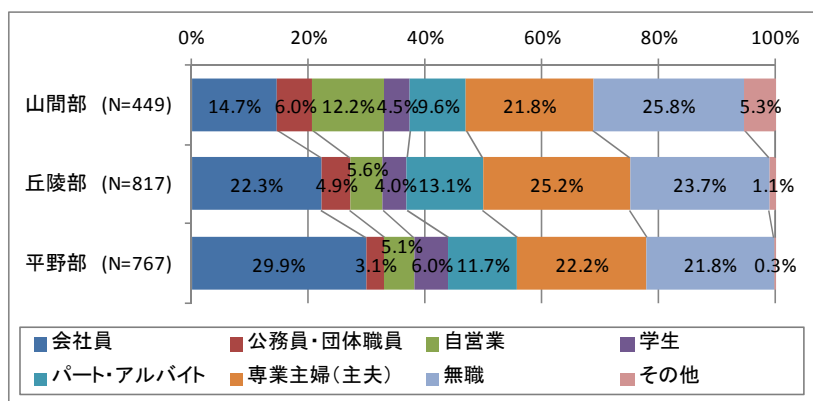
② 年齢

- ・各地域で「60歳代」以上の割合が高い傾向にある。



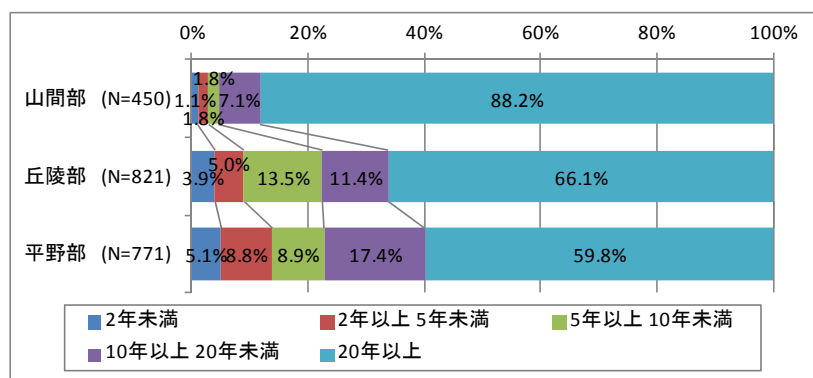
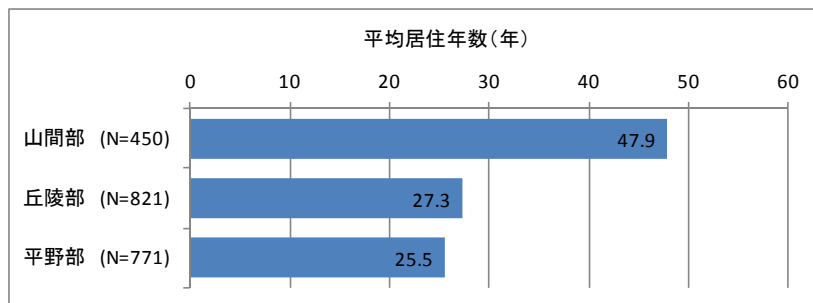
③ 職業

- ・山間部では「無職」、丘陵部では「専業主婦（主夫）」、平野部では「会社員」の割合が最も高い。



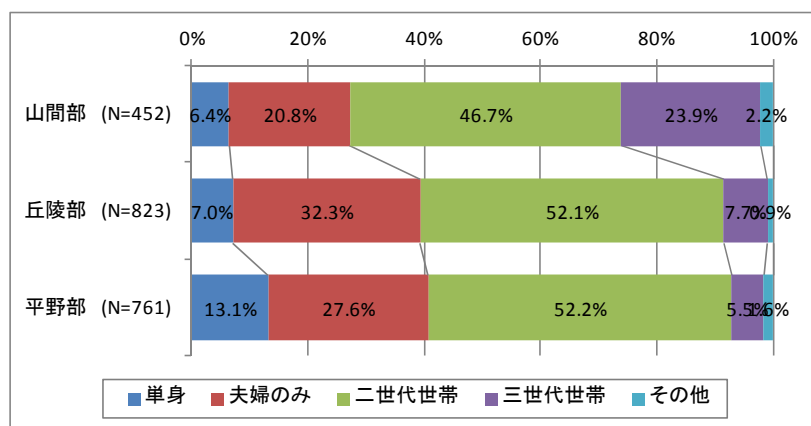
④ 居住年数

- ・平均居住年数は山間部が約 48 年で最も多く、丘陵部では約 27 年、平野部で約 26 年である。
- ・各地域で「20 年以上」の割合が最も高く、山間部は約 9 割を占める。一方で、丘陵部および平野部では居住年数が短い割合が高い傾向にある。



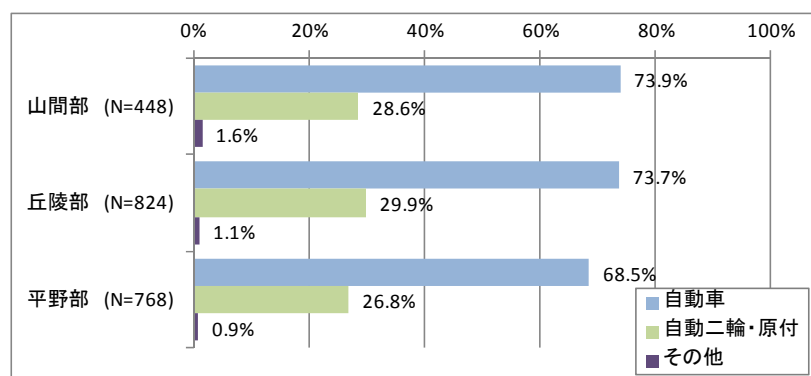
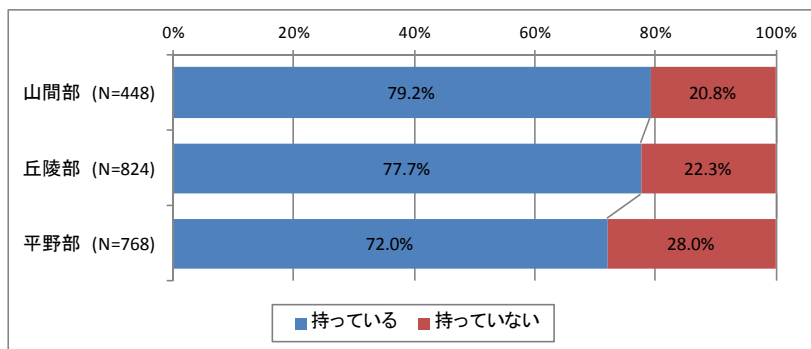
⑤ 世帯構成

- ・各地域で「二世帯世帯」が多く、約半数を占めている。山間部では「三世帯世帯」が他地域と比較して多く、約 2 割である。一方平野部では「単身」が 1 割以上と多い傾向にある。



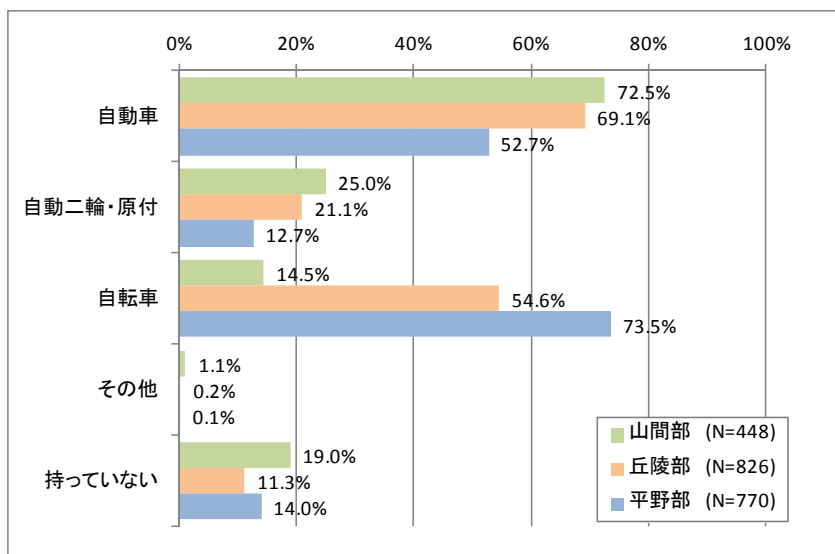
⑥ 運転免許の保有状況

- ・運転免許の保有状況は各地域で約7割～8割であり、平野部が最も低い。
- ・種類は「自動車」の割合が最も高い。



⑦ 利用可能な乗り物の保有状況

- ・利用可能な乗り物として、山間部及び丘陵部では「自動車」の割合が最も高く、約7割である。一方で、平野部では「自転車」の保有率は約7割で最も高く、「自動車」の保有率は約5割である。

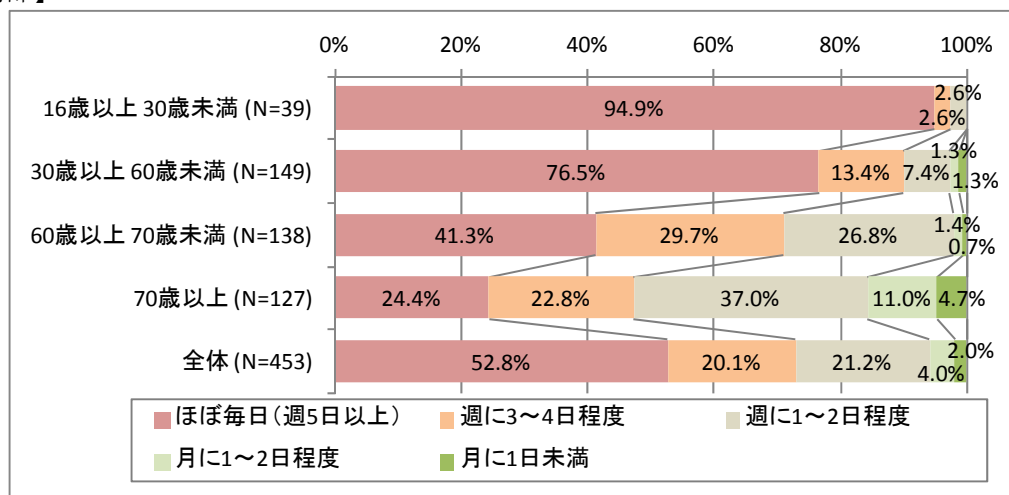


2) 日常の移動状況

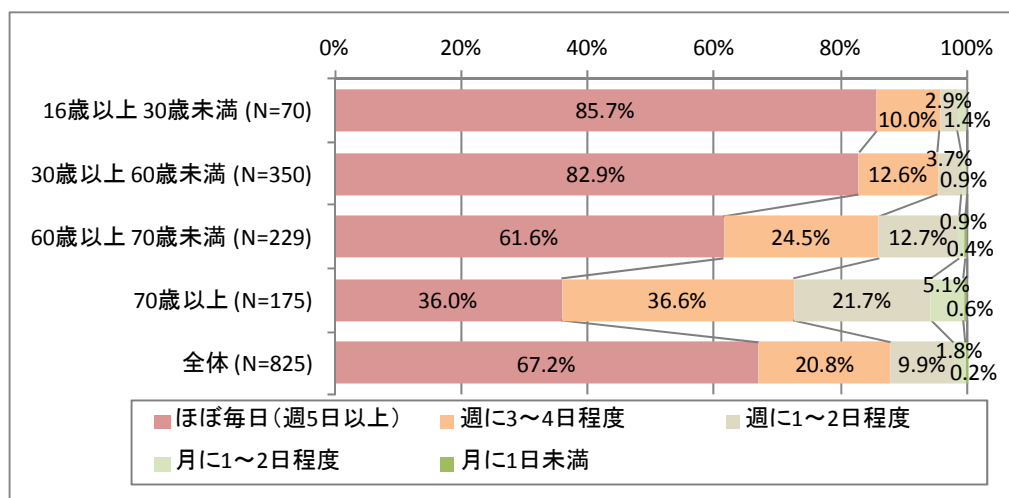
① 外出頻度

- ・「16歳以上 30歳未満」を除く全ての年代で、山間部が最も外出頻度が低く、平野部が最も高い結果であった。

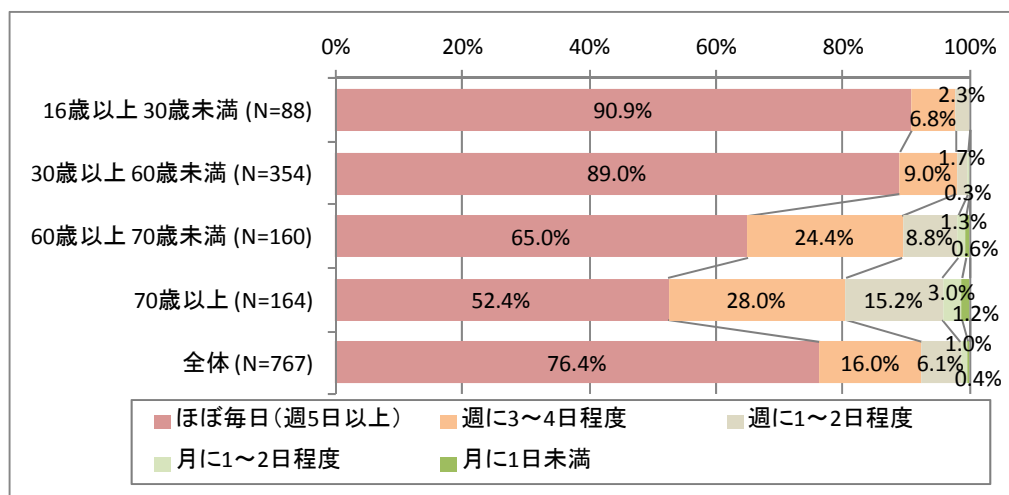
【山間部】



【丘陵部】



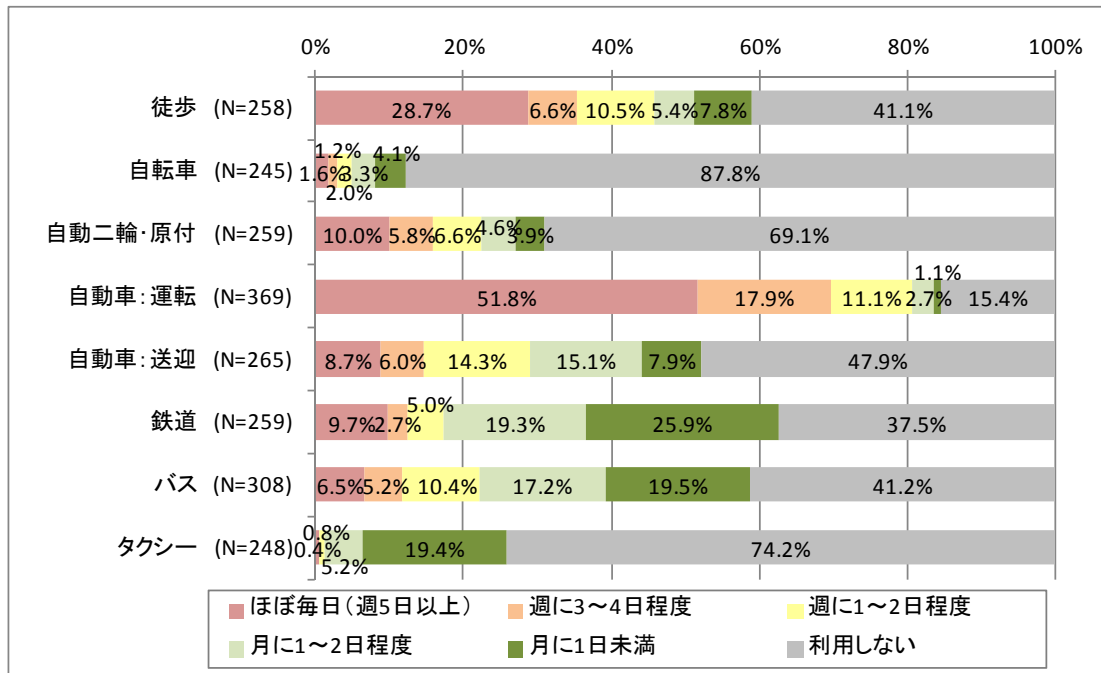
【平野部】



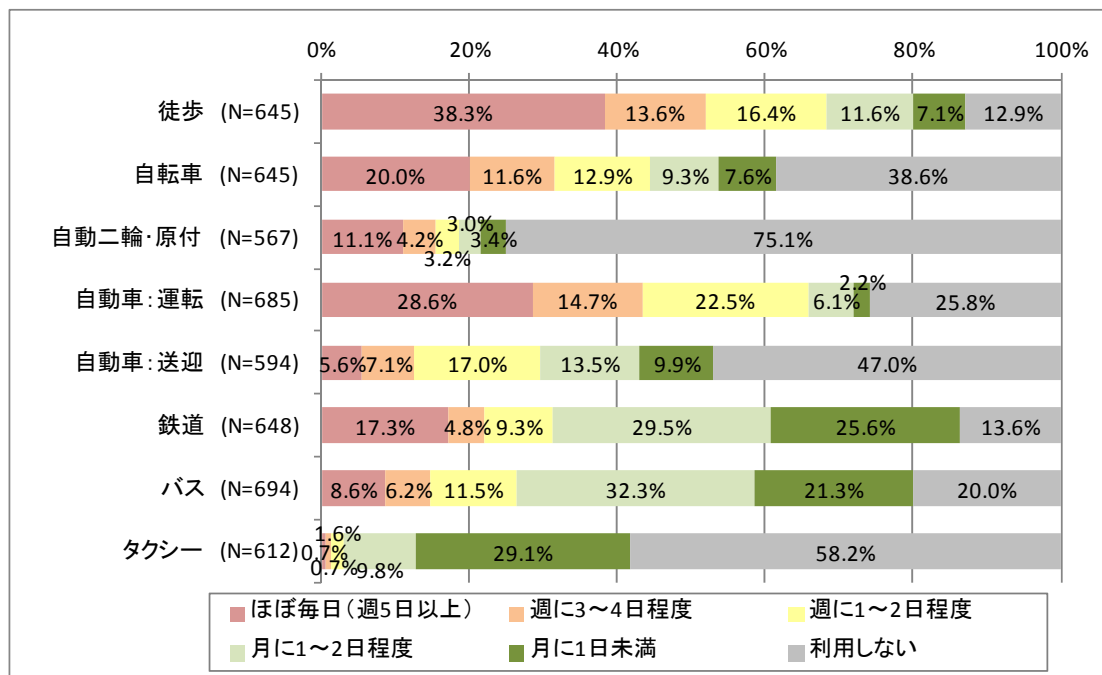
② 交通手段別の利用頻度

- ・山間部では「自動車（運転）」をほぼ毎日利用する割合が約5割で、最も高い。
- ・丘陵部では、ほぼ毎日「徒歩」で移動する割合が約4割で最も高く、次いで「自動車（運転）」が約3割、「自転車」が2割である。
- ・平野部では、ほぼ毎日「徒歩」で移動する割合が約6割で最も高く、次いで「自転車」が約4割、「鉄道」が約3割である。「自動車（自分で運転）」の割合は低く、約1割である。
- ・「バス」を週に1回以上利用する割合は、山間部で約2割、丘陵部で約3割、平野部で約1割である。

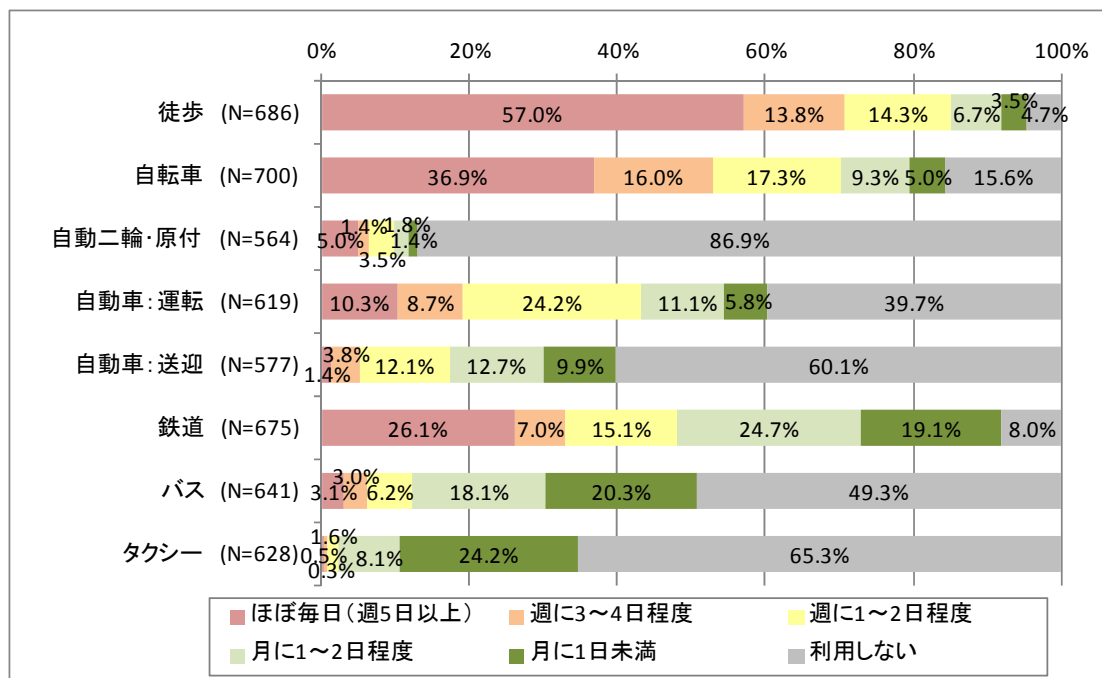
【山間部】



【丘陵部】



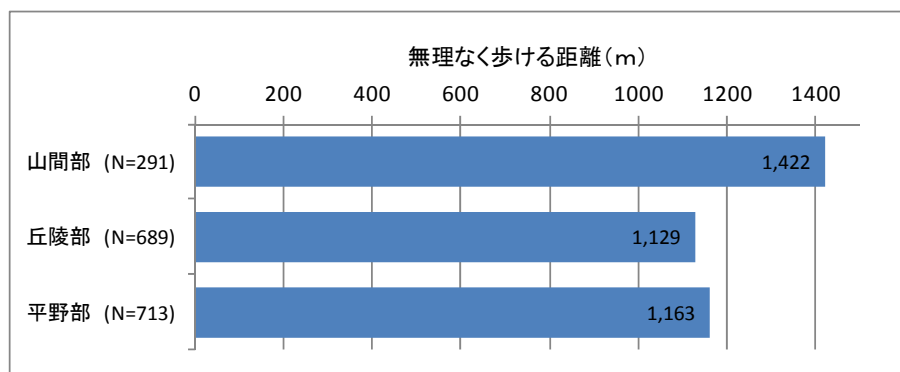
【平野部】



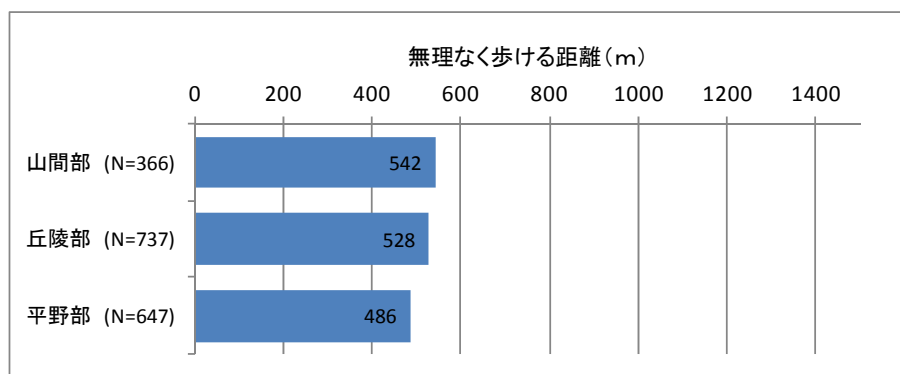
③ 鉄道駅・バス停まで無理なく歩ける距離

- ・アンケート回答者が記入した距離を平均すると、鉄道駅まで無理なく歩ける距離は約1,100m~1,400m であり、バス停まで無理なく歩ける距離は鉄道駅の概ね半分以下であり、約500m である。

【鉄道駅】

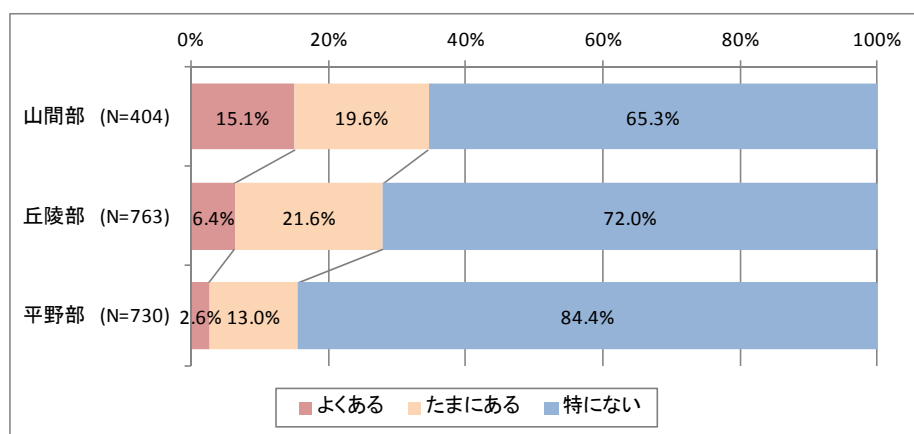


【バス停】



④ 公共交通の不便さによる移動制約の状況

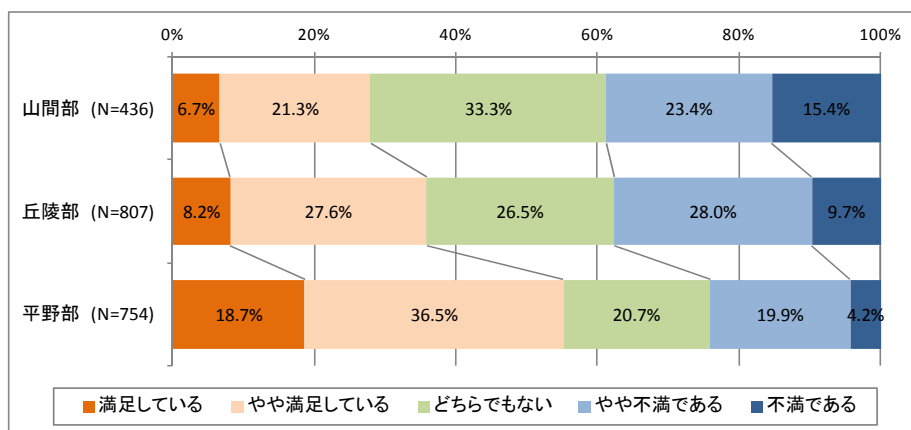
- ・山間部や丘陵部では、公共交通が不便なことで移動制約があるという割合が高い。
- ・一方で、平野部では移動制約があるという割合は低い。



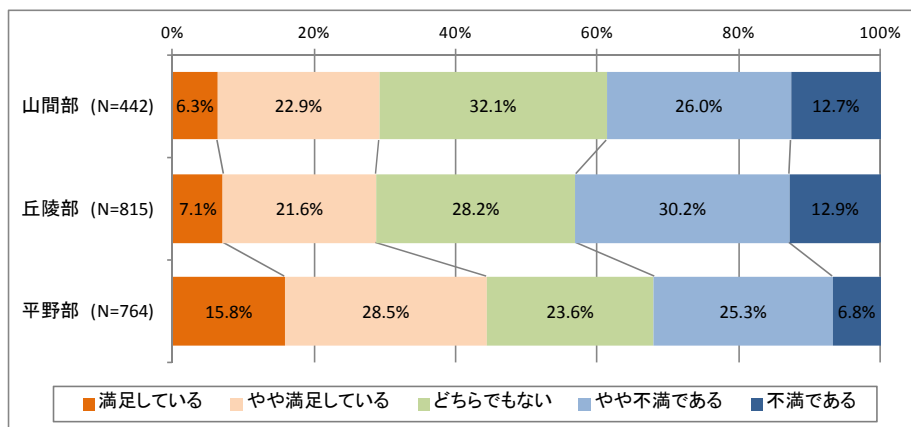
3) 日常移動の満足度等

- ・「市内の移動」に関する満足度については、山間部や丘陵部では「不満」と感じている割合が高く、平野部では「満足」と感じている割合が高い。
- ・「中心部の移動」に関する満足度については、「市内の移動」及び「市外への移動」に関する満足度よりも低い。一方で、「市外への移動」に関する満足度については、山間部、丘陵部、平野部の全ての地域で「満足」と感じている割合が高い。

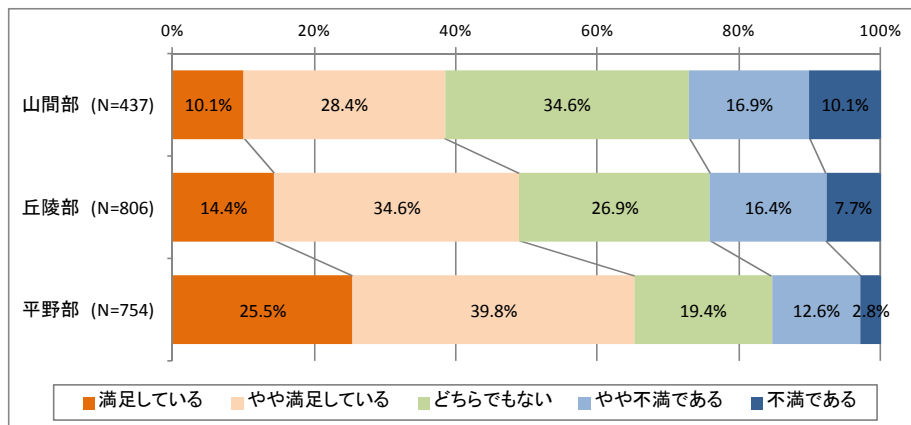
【市内の移動について】



【中心部の移動について】



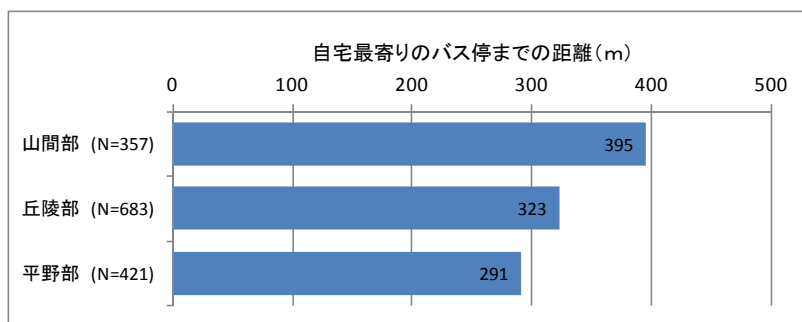
【市外への移動について】



4) 路線バスについて

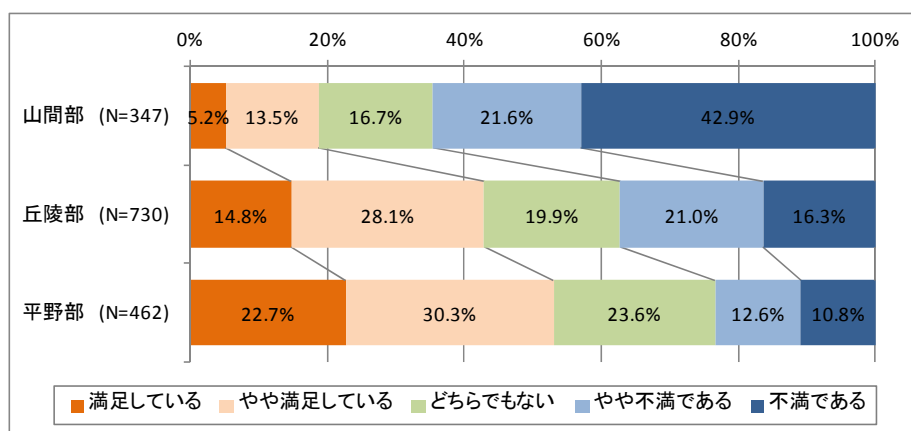
① 自宅最寄りのバス停までの距離

- ・アンケート回答者が記入した距離を平均すると、自宅の最寄バス停までの距離は約 300m~400m であり、バス停まで無理なく歩ける距離での回答（約 500m）より短い。



② 路線バスの利用のしやすさに対する満足度

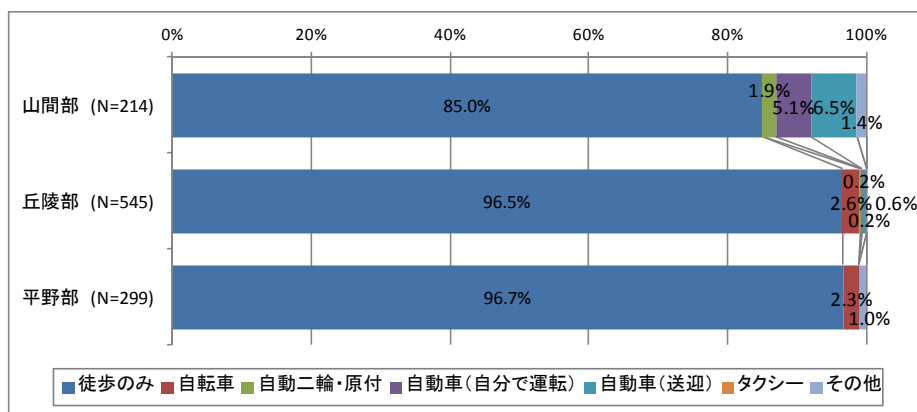
- ・路線バスの利用のしやすさに対する満足度については、山間部で「不満」とする割合が約 6 割である。丘陵部では「満足」と「不満」の割合は概ね同程度であり、平野部では「満足」の割合が高い。



5) 路線バス利用者の実態・意向等

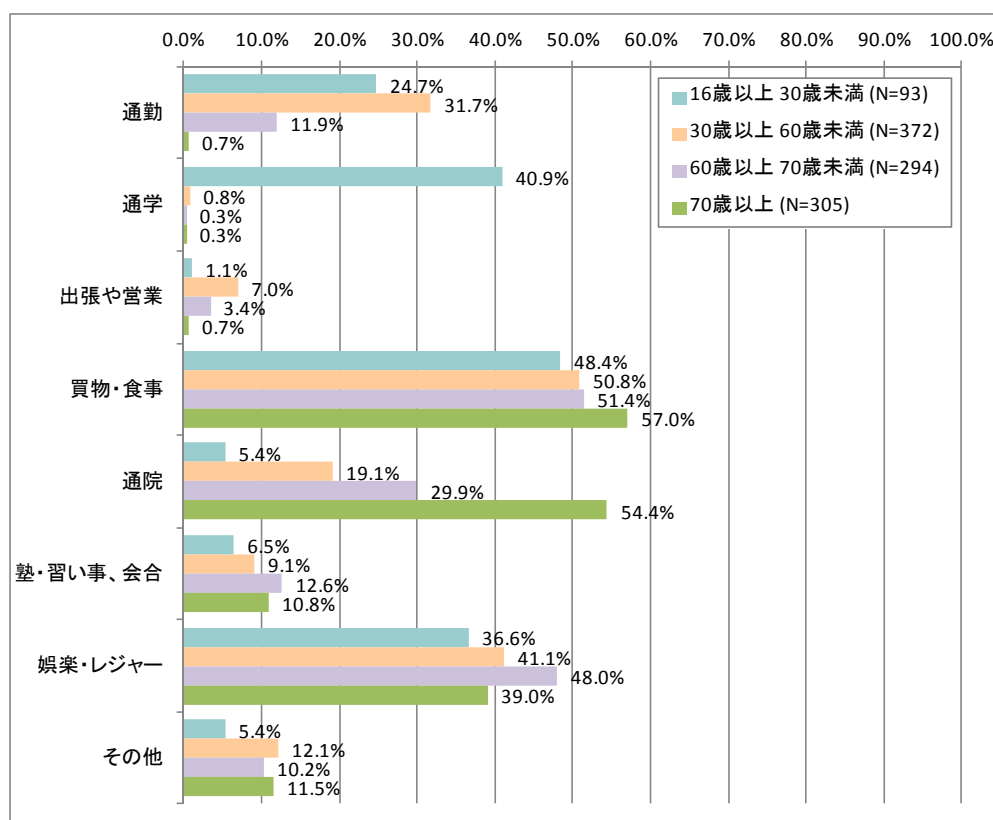
① バス停までの交通手段

- ・バス停までの交通手段は各地域で「徒歩のみ」が最も高い。
- ・山間部は他の地域より「徒歩のみ」以外の割合が高く「自動車（自分で運転）」が約 5 %、「自動車（送迎）」が約 7 %と、自動車を用いてバス停まで行く割合が高い。



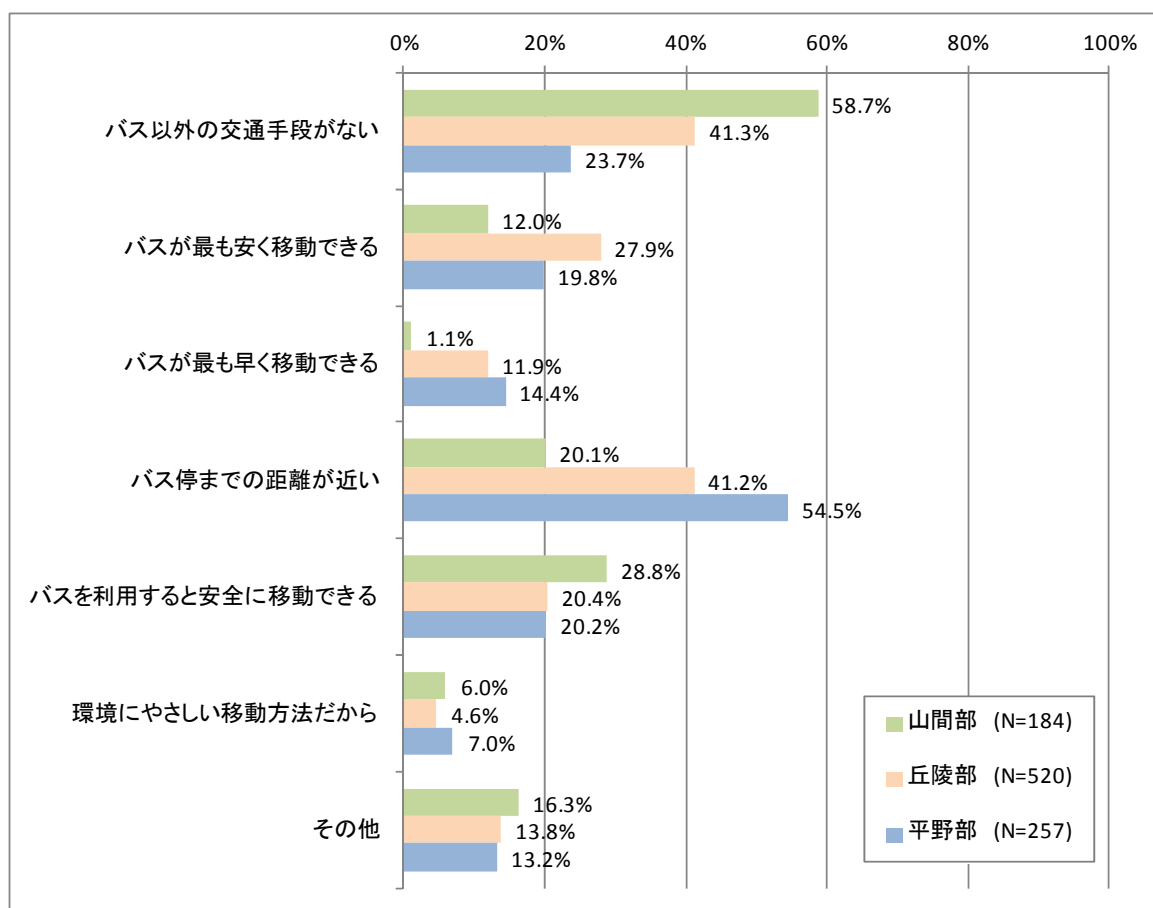
② 路線バスの利用目的

- ・路線バスの利用について、「買物・食事」と「娯楽・レジャー」での移動目的が各年代で高い割合を示す。また、60 歳未満では「通勤」で、60 歳以上では「通院」での移動目的の割合が高い。



③ 路線バスを利用する理由

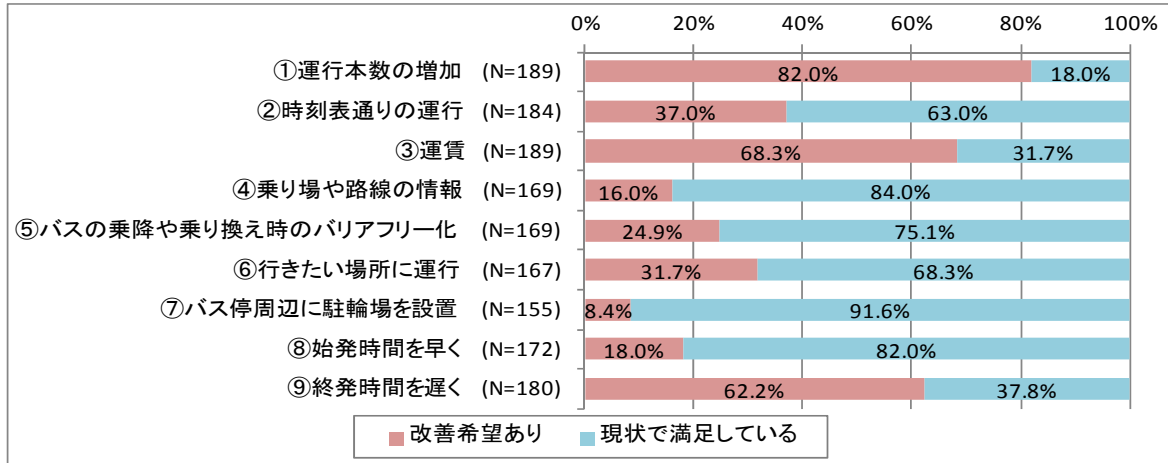
- ・路線バスを利用する理由は、山間部では「バス以外の交通手段がない」の割合が約6割で最も高く、丘陵部においても約4割を占める。平野部では「バス停までの距離が近い」の割合が約5割で最も高い。また、「バスを利用すると安全に移動できる」について各地域で約2～3割の人が回答している。



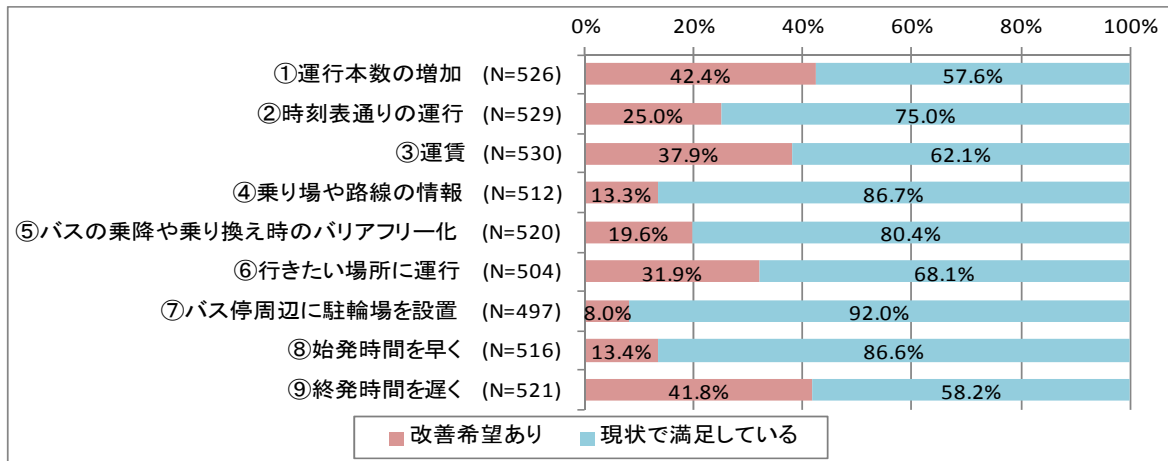
③ 路線バスに対する改善希望

- ・路線バスを利用する人の改善希望は各地域で共通しており「運行本数の増加」、「運賃」、「終発時間を遅く」の割合が高い。ただし、平野部では「現状で満足している」の割合が高い。

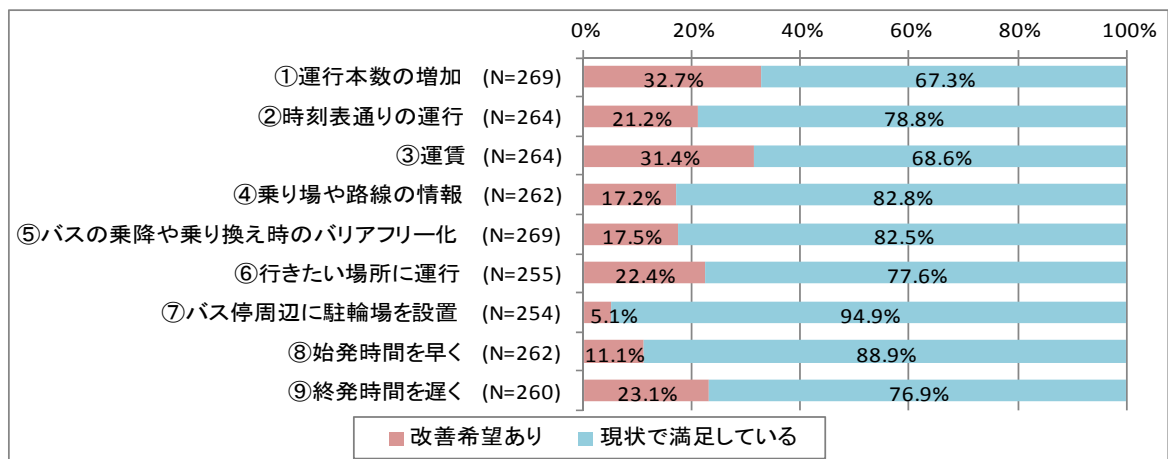
【山間部】



【丘陵部】



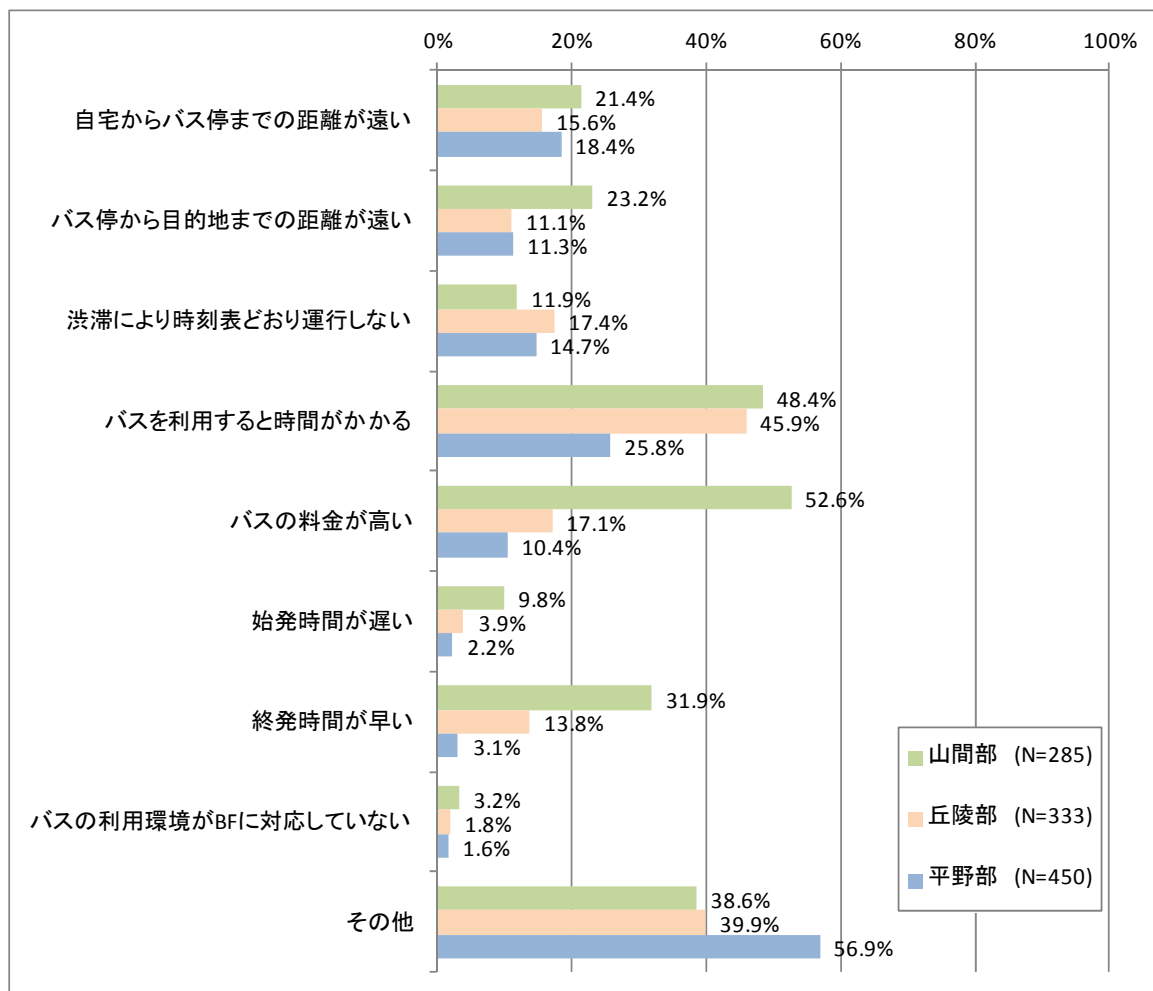
【平野部】



6) 路線バスを利用しない人の意向等

① 路線バスを利用しない理由

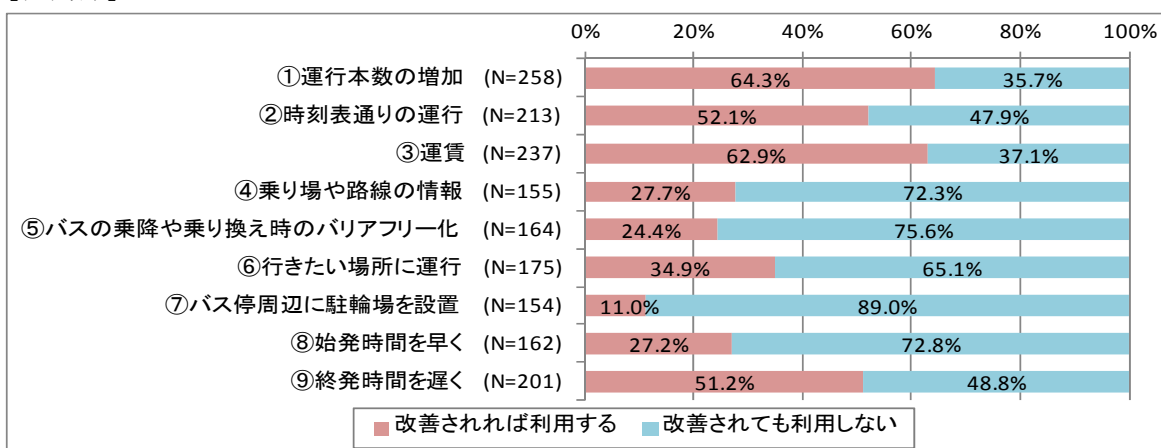
- ・路線バスを利用しない理由として、「その他」を除き、各地域で「バスを利用すると時間がかかる」の割合が高い。また、山間部においては「バスの料金が安い」、「終発時間が早い」の割合が高い。



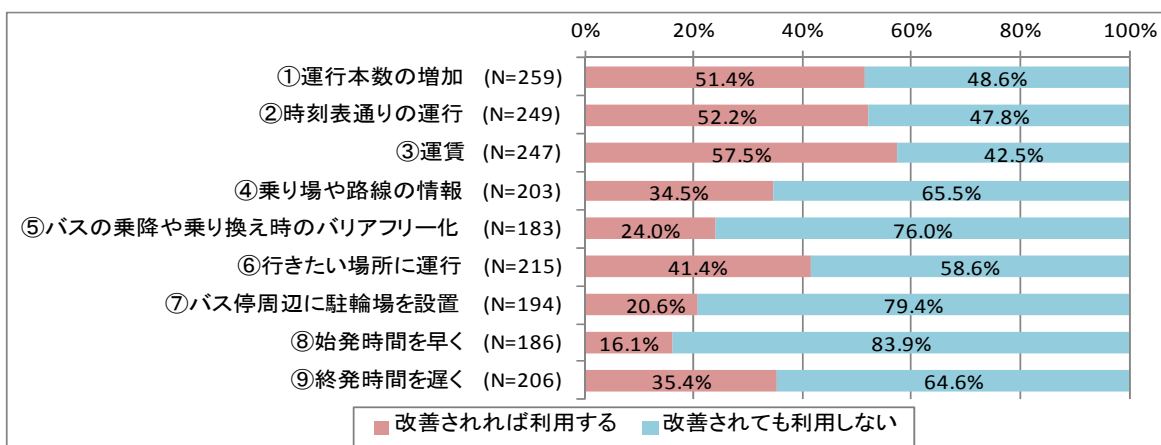
② 路線バス利用の可能性と改善内容

- ・現在路線バスを利用していない人が、改善されれば利用するとした項目は、「運行本数の増加」、「時刻表通りの運行」、「運賃」の割合が高い。改善されれば利用する割合は、平野部が最も少ないものの、一定の改善により最大で約4割の人が利用すると回答している。

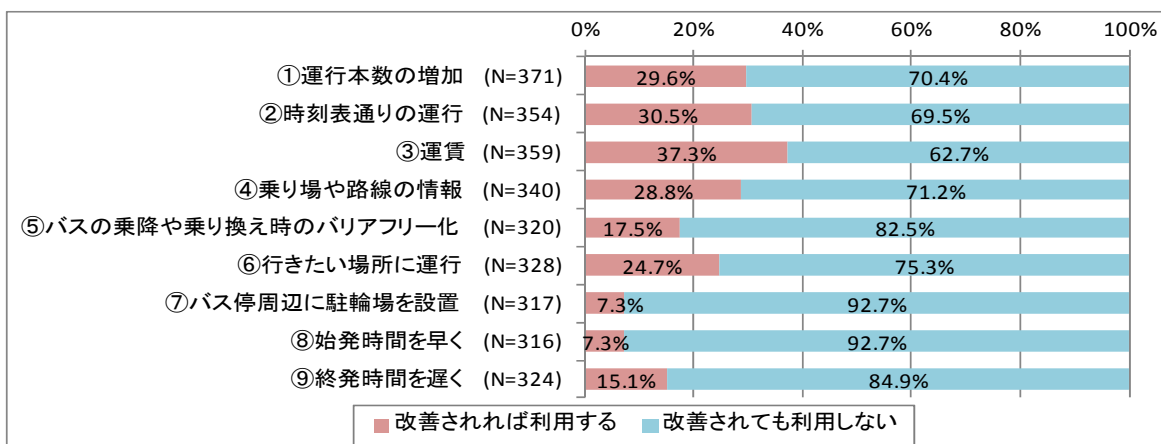
【山間部】



【丘陵部】



【平野部】

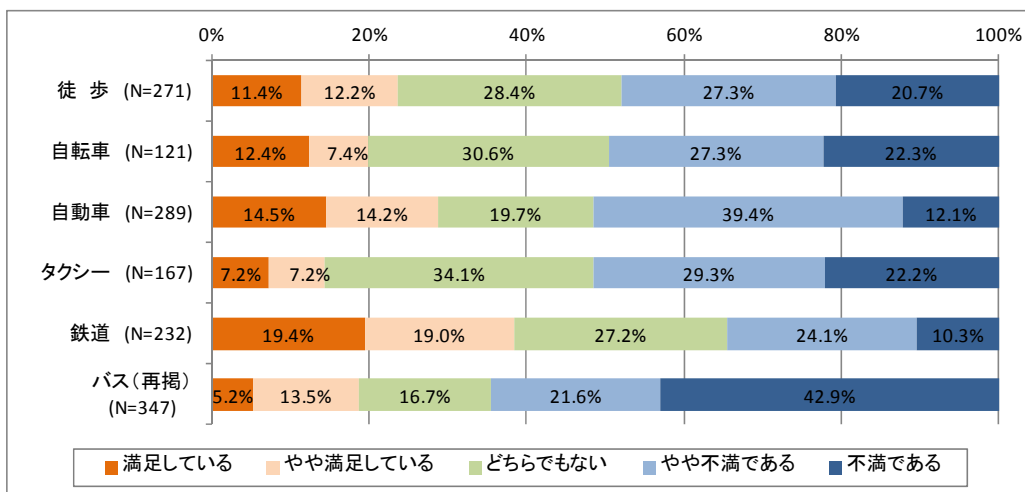


7) 各交通手段に対する意向等

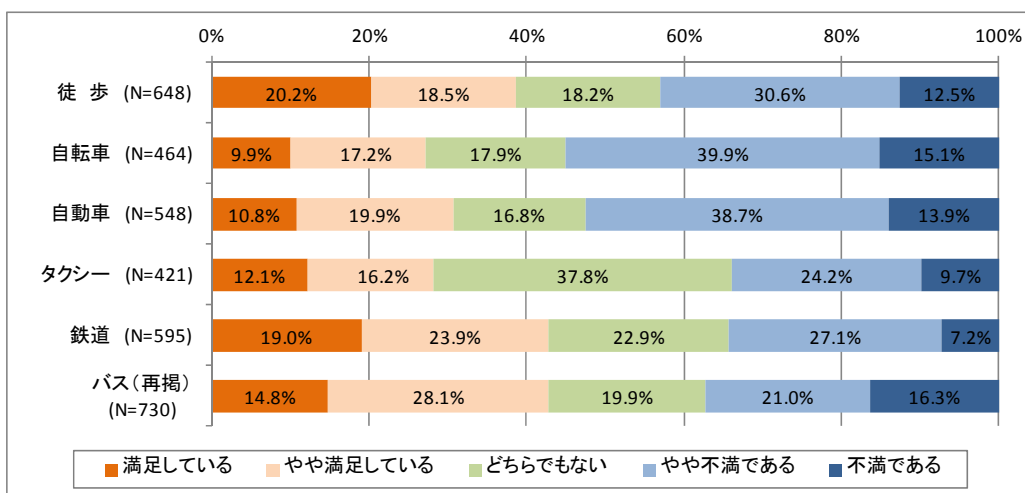
① 各交通手段に対する満足度

- ・各地域での「鉄道」、平野部での「タクシー」、平野部及び丘陵部での「バス」は、不満より満足の割合が高い。
- ・不満の割合が高い交通手段は、山間部では「鉄道」を除くすべて、丘陵部及び平野部では「徒歩」、「自転車」、「自動車」である。

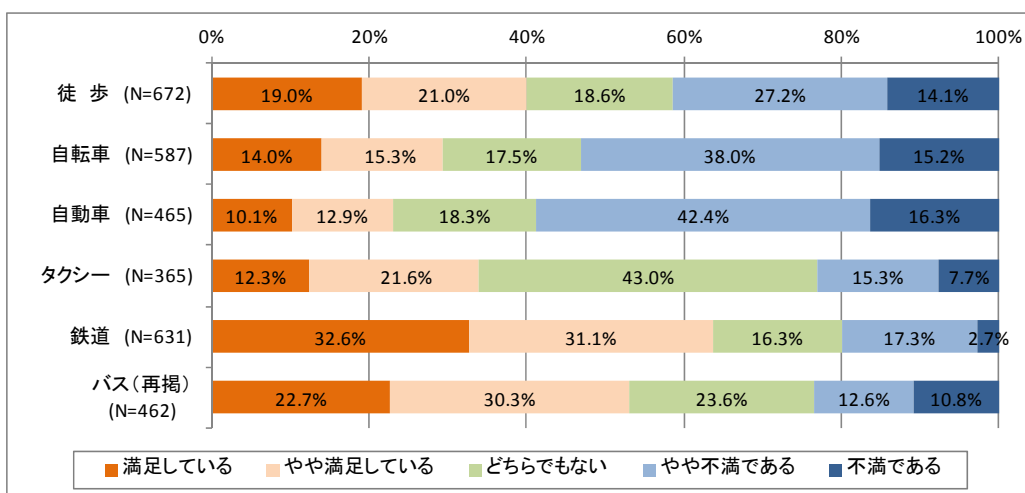
【山間部】



【丘陵部】



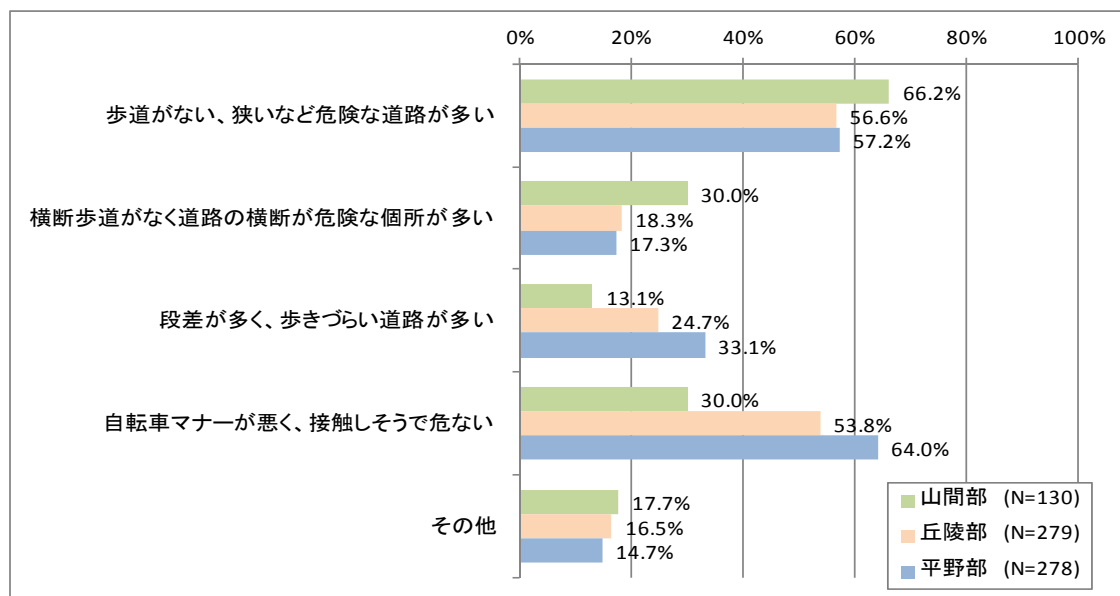
【平野部】



② 不満に思う内容

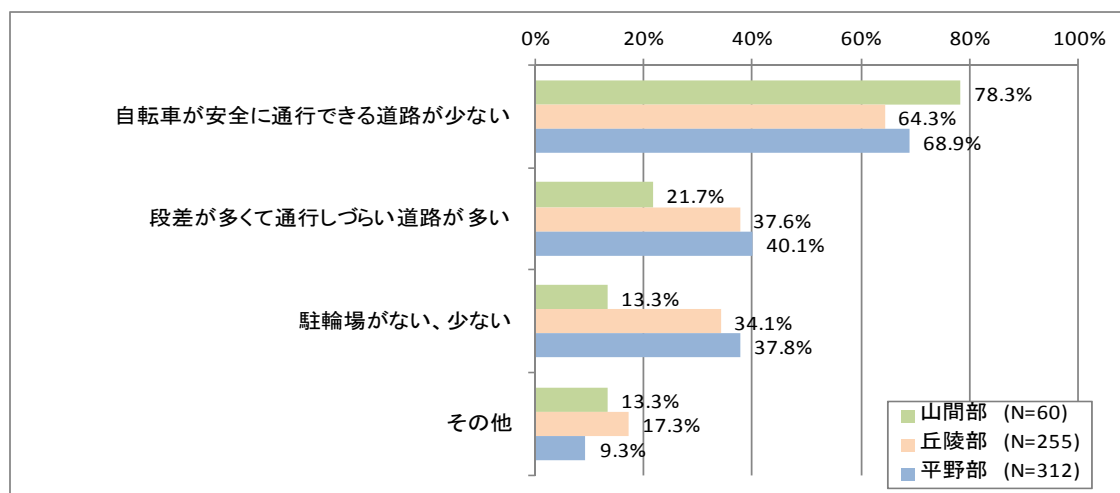
【徒歩】

- ・ 徒歩に対する不満の内容として、各地域で共通して「歩道がない、狭いなど危険な道路が多い」の割合が高く、丘陵部及び平野部では「自転車マナーが悪く、接触しそうで危ない」の割合も高い。



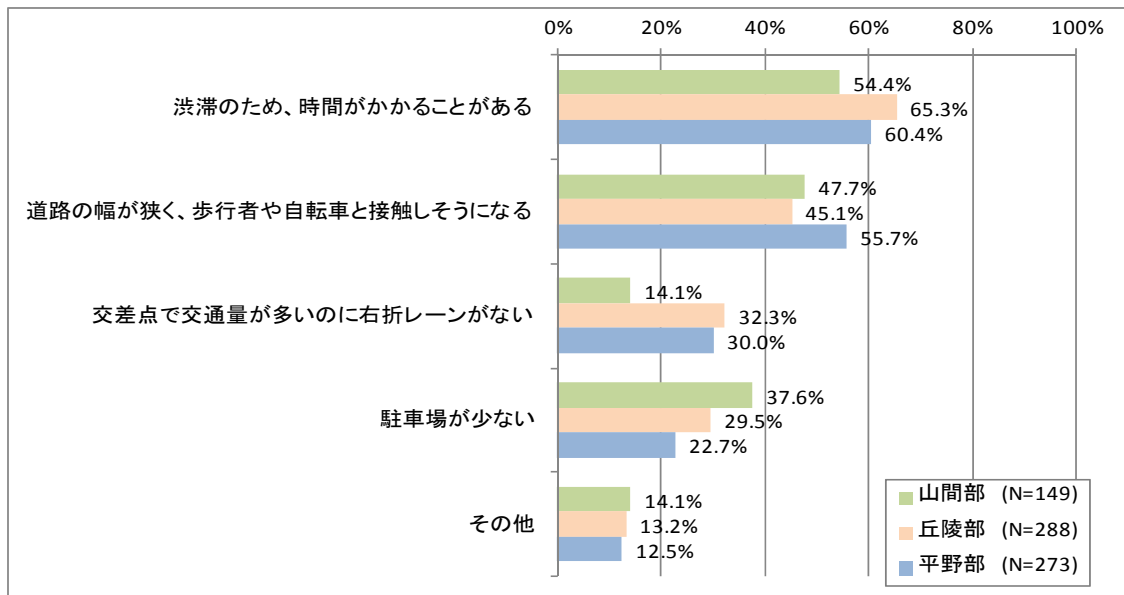
【自転車】

- ・ 自転車に対する不満は、「自転車が安全に通行できる道路が少ない」の割合が高い。



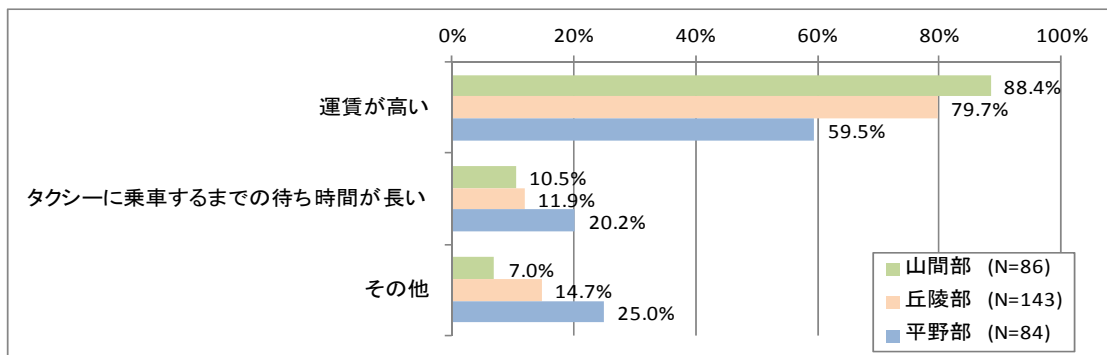
【自動車】

- ・自動車に対する不満として、各地域で共通して「渋滞のため、時間がかかることがある」の割合が最も高く、次に「道路の幅が狭く、歩行者や自転車と接触しそうになる」の割合が高い。



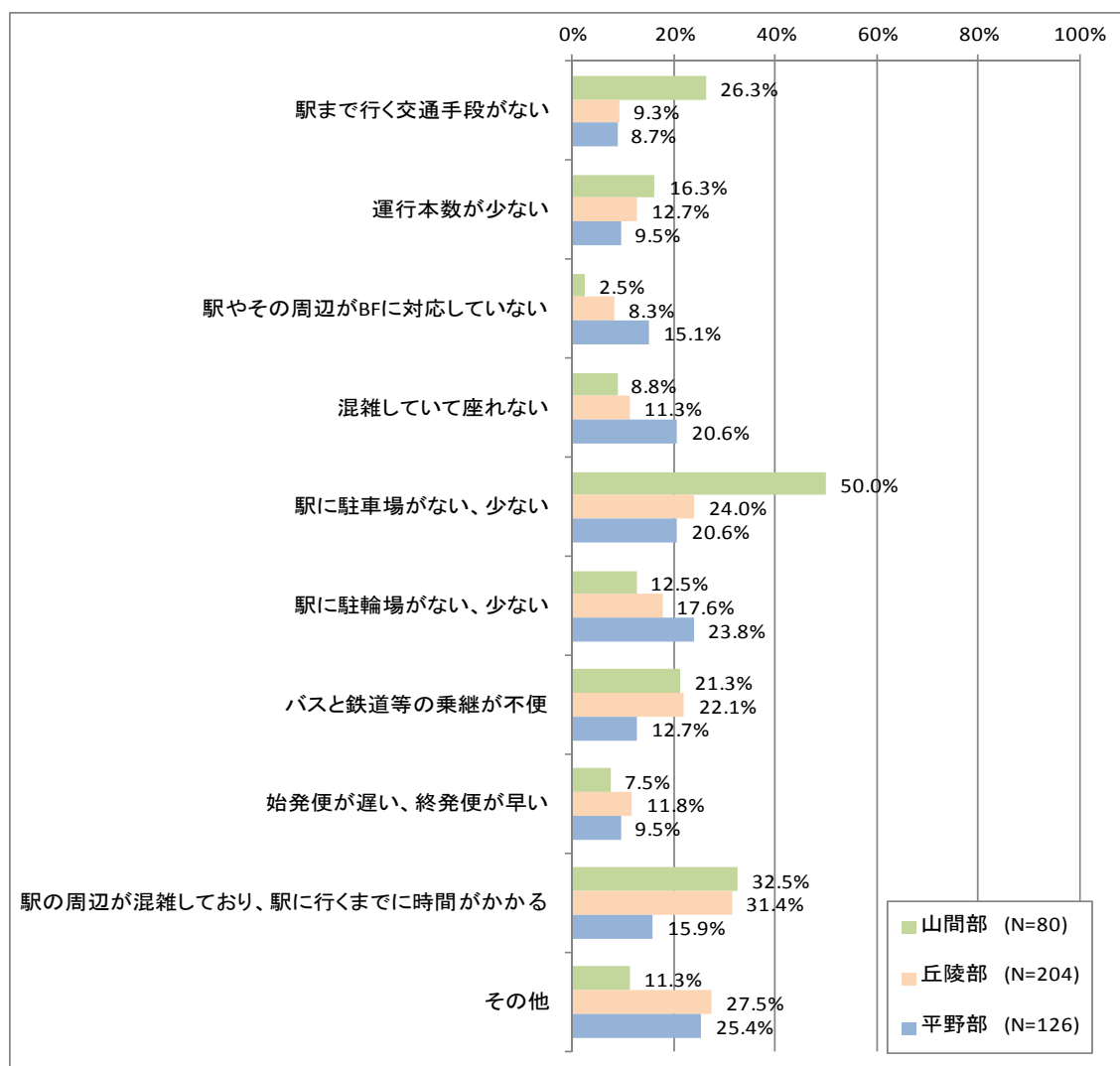
【タクシー】

- ・タクシーに対する不満として、全ての地域において「運賃が高い」の割合が高い。



【鉄道】

- ・鉄道に対する不満として、山間部では「駅に駐車場がない、少ない」の割合が5割を占めている。また、山間部及び丘陵部では、「駅の周辺が混雑しており、駅に行くまで時間がかかる」の割合が高い。平野部では山間部及び丘陵部と比較すると不満は少ないが、「駅に駐輪場がない、少ない」の割合が最も高く、次に「混雑して座れない」と「駅に駐車場がない、少ない」の割合が高い。

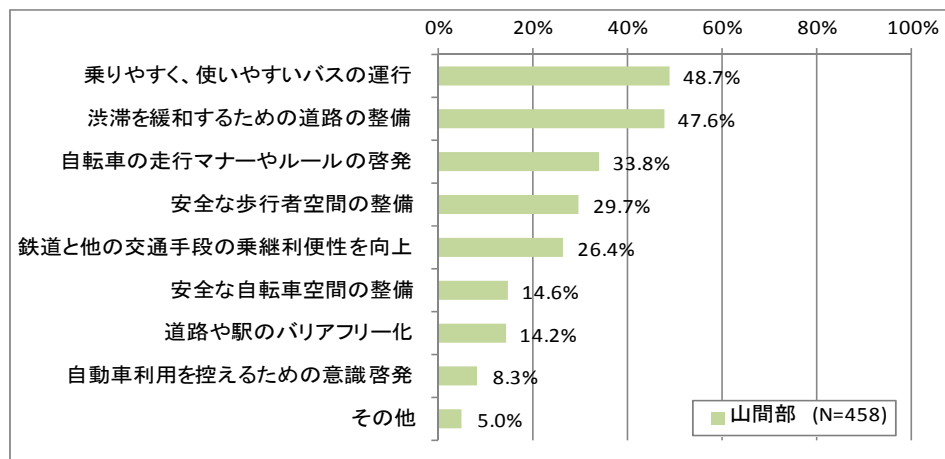


8) 将来の茨木市の交通について

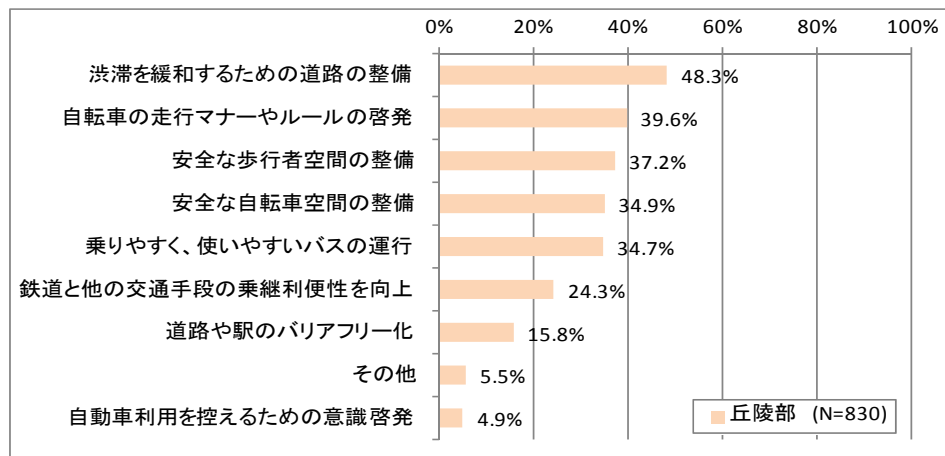
① 今後必要と思う取り組み

- ・ 山間部では、「乗りやすく、使いやすいバスの運行」と「渋滞を緩和するための道路の整備」の割合が高く、次に「自転車の走行マナーやルールの啓発」の割合が高い。
- ・ 丘陵部では、「渋滞を緩和するための道路の整備」、次いで「自転車の走行マナーやルールの啓発」、「安全な歩行者空間の整備」、「安全な自転車空間の整備」、「乗りやすく、使いやすいバスの運行」の割合が高い。
- ・ 平野部では、「安全な歩行者空間の整備」、「自転車の走行マナーやルールの啓発」、「安全な自転車空間の整備」、「渋滞を緩和するための道路の整備」の割合が高い。

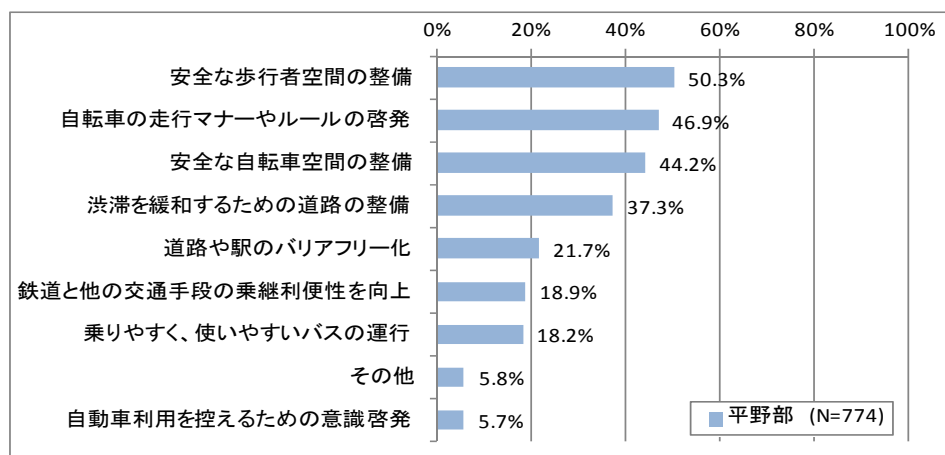
【山間部】



【丘陵部】



【平野部】



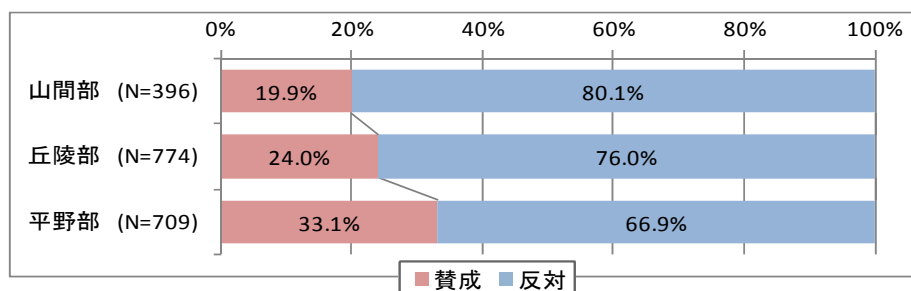
②相反する交通施策への賛否

- ・施策に対しての結果として、「道路の混雑が悪化する」（設問 i）、「迂回が必要になる」（設問 iii）、「一般の自動車は駅へのアクセスができなくなる」（設問 vi）のように、影響が分かりやすいものについては反対の割合が高い。ただし、平野部では他の地域と比較して賛成の割合が高い傾向にある。
- ・「高齢者や障害者など交通弱者に重点を置いた取り組みを重点的に行う」（設問 v）については 8 割～9 割の人が賛成をしており、また「事故の減少に向けた意識啓発やマナー教育を重視する」（設問 iv）についても 7 割～8 割の人が賛成している。
- ・「街路樹や植樹帯を無くし、広い歩道や自転車通行環境を整備する」（設問 ii）については賛成と反対が概ね半々となっている。

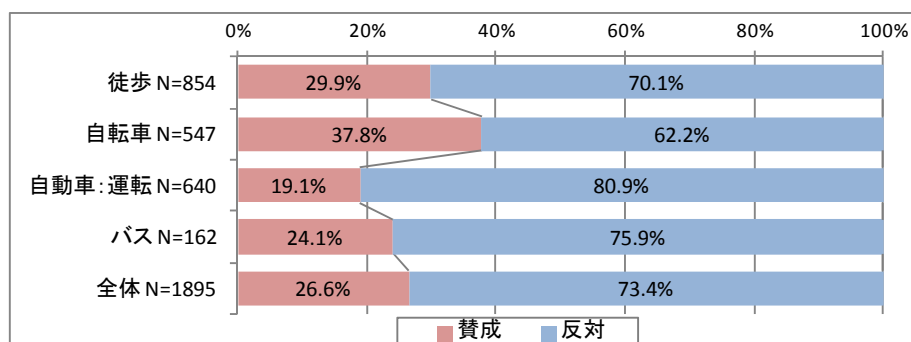
i) 市内の主要な道路で、車線数を減らして自転車通行環境を整備する。

→その結果、自転車は安全・快適に通行できますが、道路の混雑が悪化します。

【地域別】



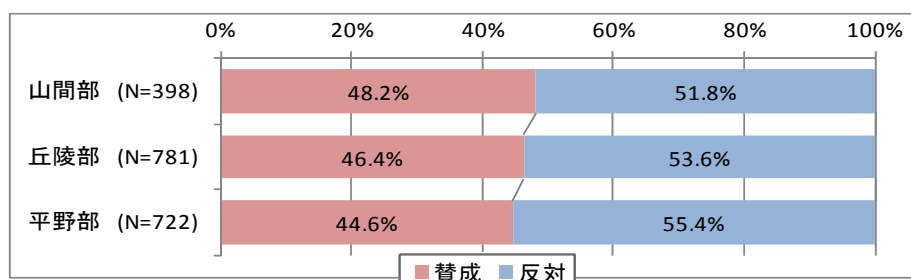
【交通手段別】 各交通手段を頻繁に用いる（週に3回以上）人を対象に集計



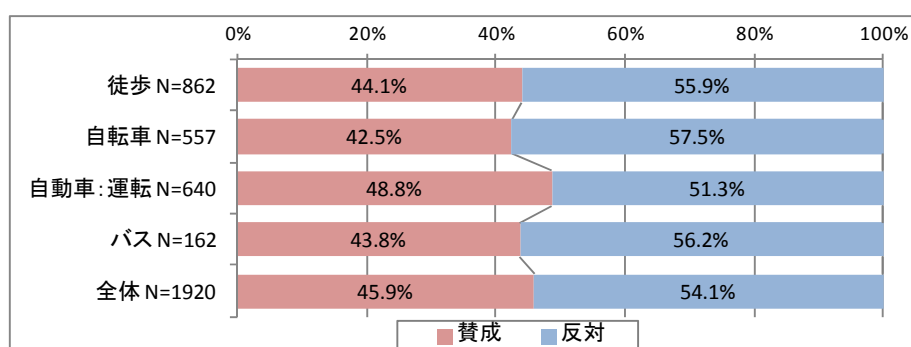
ii) 街路樹や植樹帯を無くし、広い歩道や自転車通行環境を整備する。

→その結果、歩行者や自転車は安全に通行できますが、まちなかの緑が減少します。

【地域別】



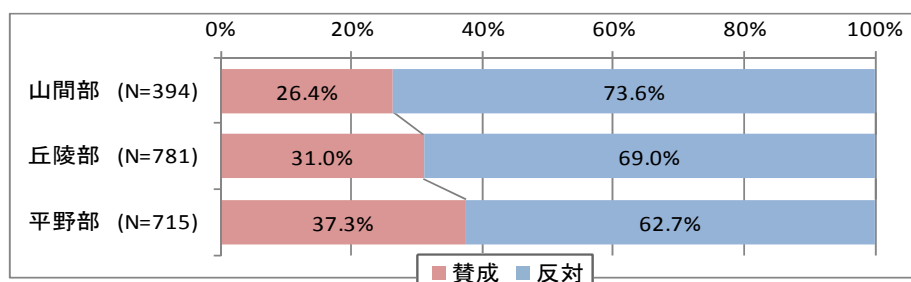
【交通手段別】 各交通手段を頻繁に用いる（週に3回以上）人を対象に集計



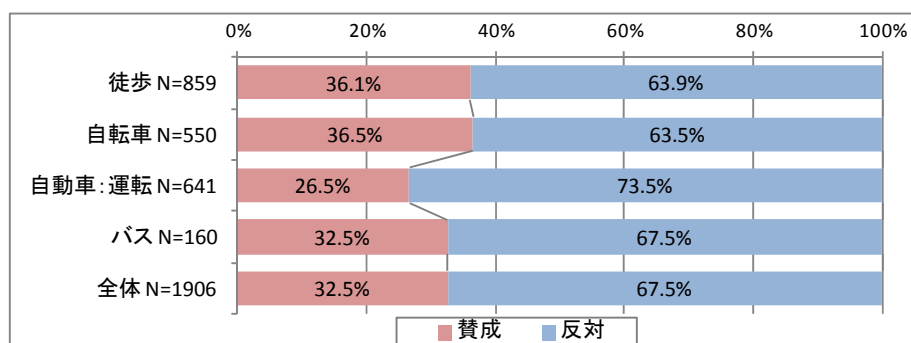
iii) 片側1車線ずつの2車線道路を、1車線の一方通行にして、広い歩道や自転車通行環境を整備する。

→その結果、歩行者や自転車は安全に通行できますが、自動車で沿道の住宅や商店へ行くためには、迂回が必要になり利便性が低下します。

【地域別】



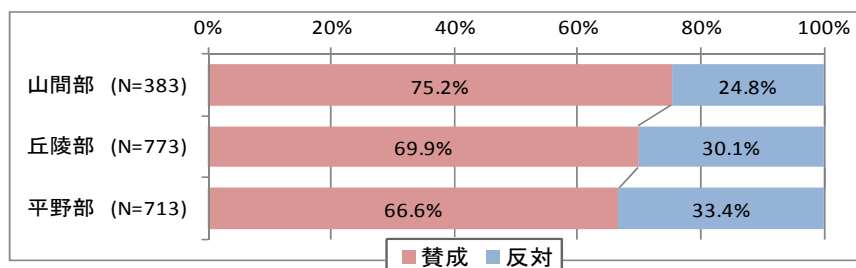
【交通手段別】 各交通手段を頻繁に用いる（週に3回以上）人を対象に集計



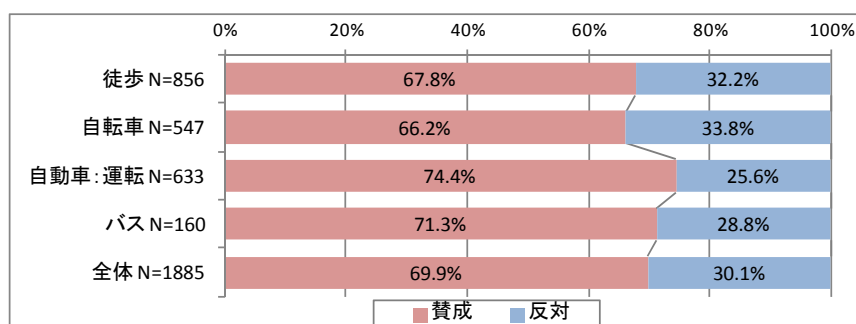
iv) 歩道の拡幅や自転車通行環境の整備を行うよりも、歩行者と自転車や自転車同士の事故の減少に向けた意識啓発やマナー教育を重視する。

→その結果、歩行者の安全性は向上しますが、歩行者や自転車の通行のしやすさは変わりません。

【地域別】



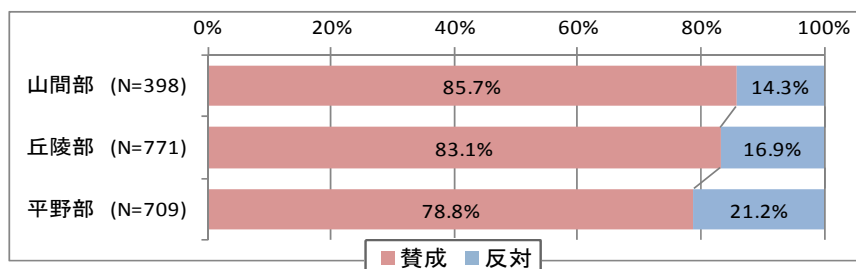
【交通手段別】 各交通手段を頻繁に用いる（週に3回以上）人を対象に集計



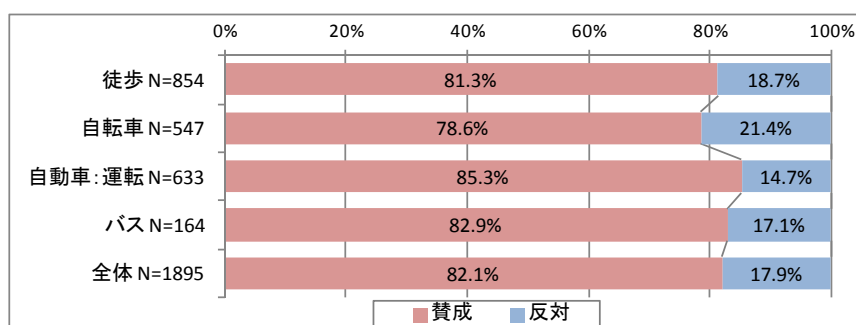
v) バス利用者の利便性向上について、高齢者や障害者など交通弱者に重点を置いた取り組み（ノンステップ車両、駅前のバリアフリー化、料金割引等）を行う。

→その結果、交通弱者の利用促進は期待できますが、必ずしも市民全体の利便性向上にはつながるとは言えません。

【地域別】



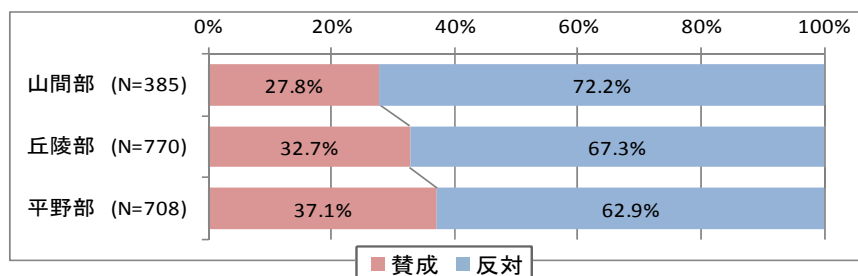
【交通手段別】 各交通手段を頻繁に用いる（週に3回以上）人を対象に集計



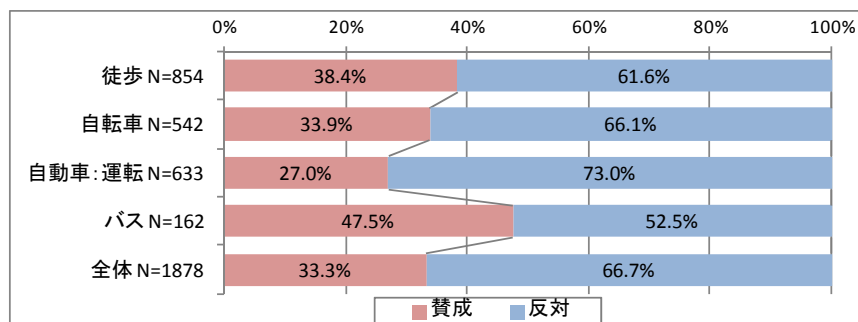
vi) 朝の通勤・通学時間帯に、鉄道駅周辺の一部の道路についてバスやタクシーなど公共交通以外の自動車の通行を制限する。

→その結果、駅へ到着する公共交通の定時性は確保されますが、一般の自動車は駅へアクセスできなくなります。

【地域別】

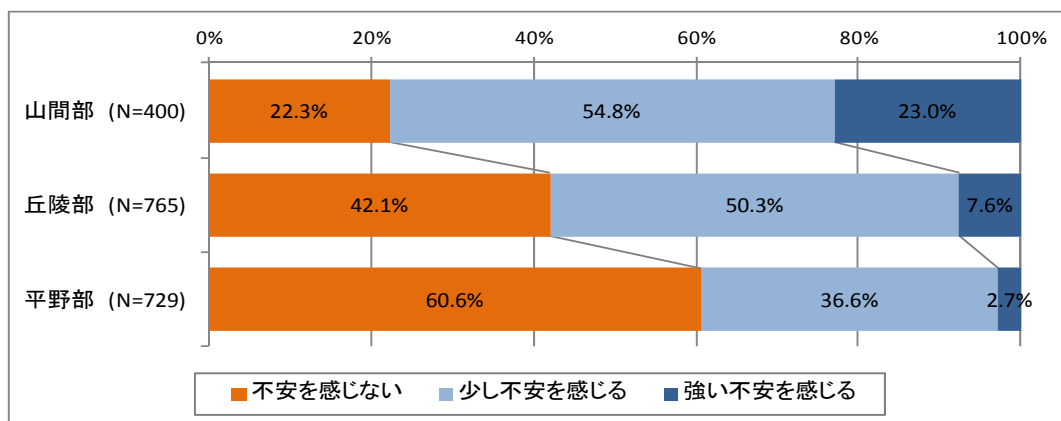


【交通手段別】 各交通手段を頻繁に用いる（週に3回以上）人を対象に集計

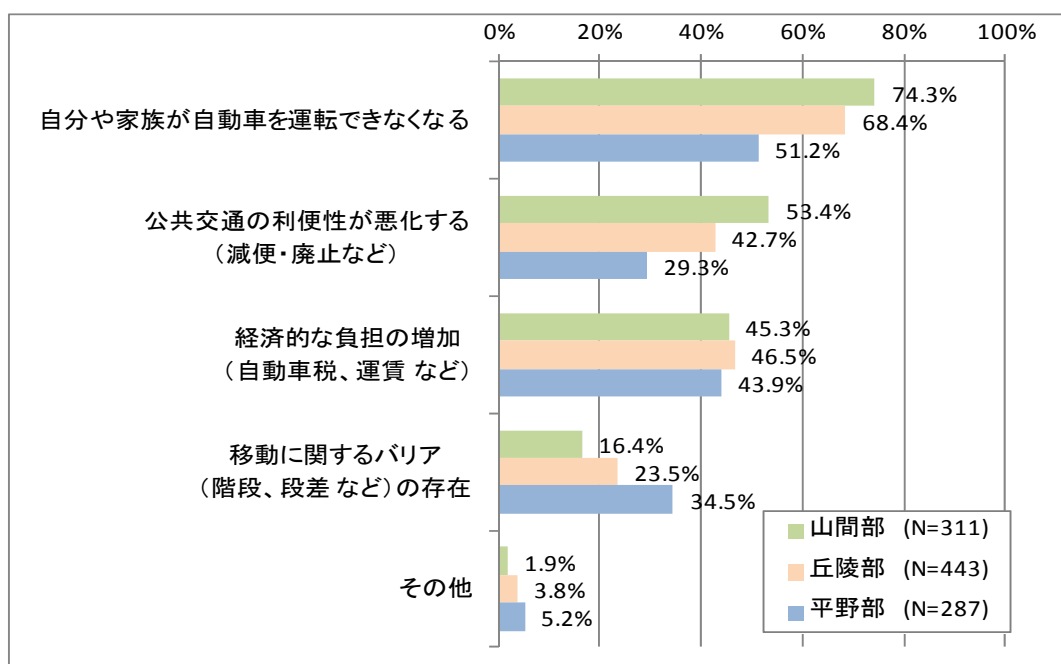


③ 将来的な移動確保についての不安

- ・将来的な移動手段の確保については、山間部で約 8 割、丘陵部で約 6 割、平野部で約 4 割の人が不安を感じている。
- ・不安に思う内容については、各地域で共通して「自分や家族が自動車を運転できなくなる」の割合が最も高く、「経済的な負担の増加」を約 4 割～ 5 割の人が回答している。
- ・また、山間部及び丘陵部では「公共交通の利便性が悪化」も約 4 ～ 5 割の人が回答しており、平野部では「移動に関するバリア」の割合が約 3 割を超えている。

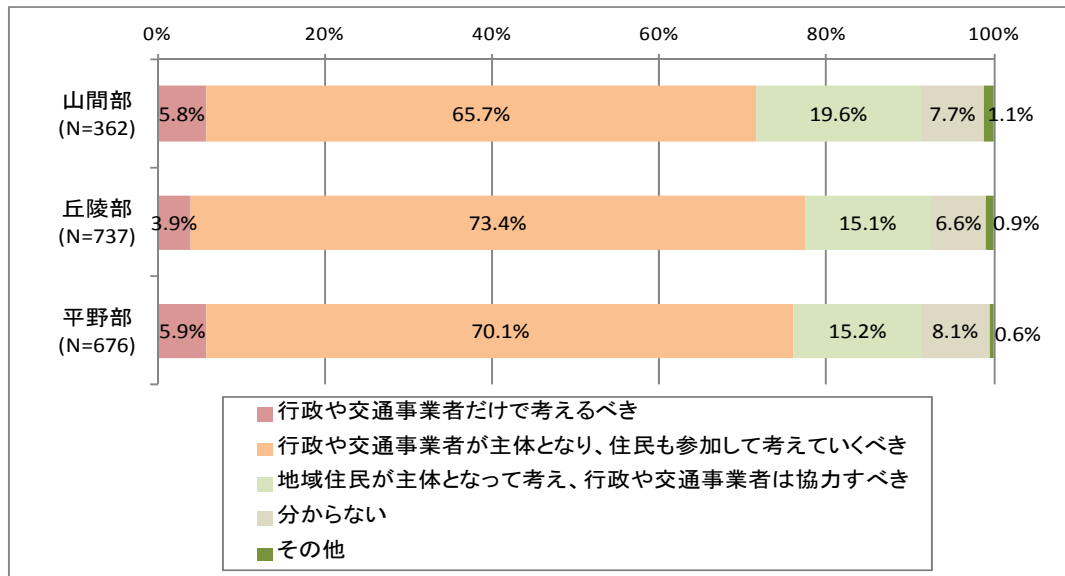


【不安に思う内容】



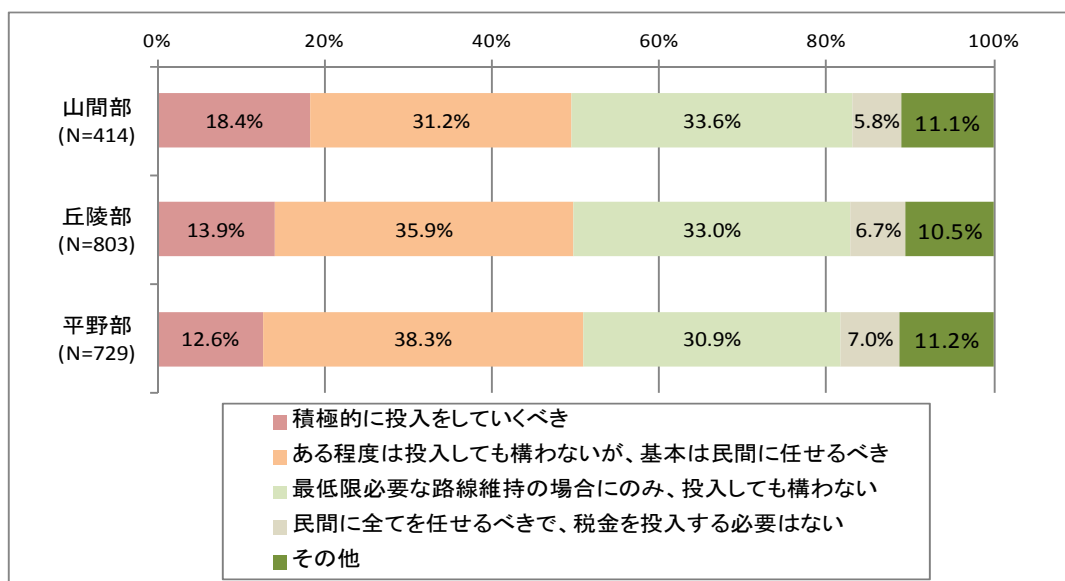
④ 今後、利用しやすい公共交通を実現するための取り組み主体

- ・利用しやすい公共交通を実現するための取り組みとして、各地域で約 2 割の人が「地域住民が主体となって考え、行政や交通事業者は協力すべき」と回答しており、約 9 割の人が少なからず住民も参加して考えていくべきと考えている。



⑤ 公共交通の確保、利用サービス向上のための税金投入について

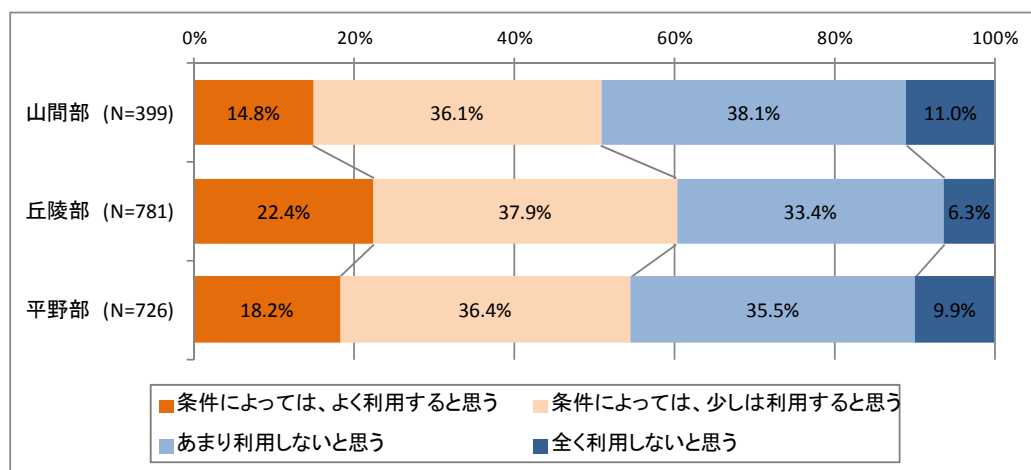
- ・公共交通の確保、利用サービスの向上については、「積極的に投入をしていくべき」の割合は約 1 割～2 割であり、「ある程度は投入しても構わないが基本は民間に任せるべき」を合わせると約 5 割である。



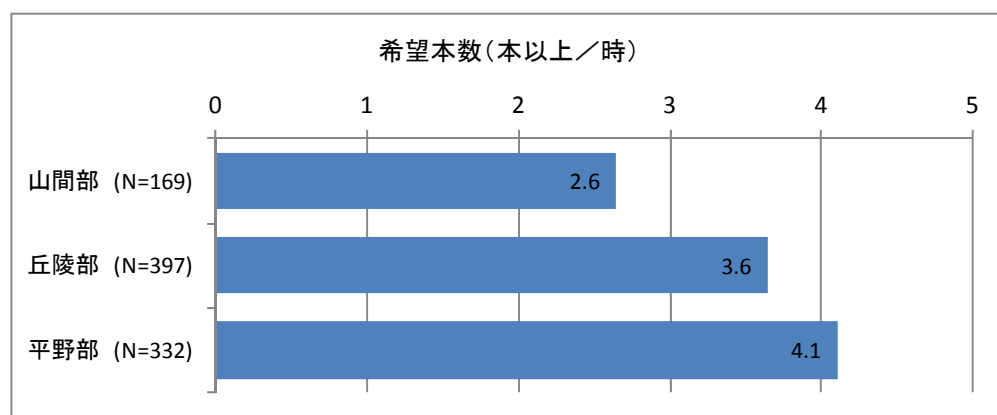
⑥ 市内中心部の主要施設・鉄道駅を循環するバスが導入された場合の利用意向

- ・山間部では約 15%、丘陵部では約 22%、平野部では約 18%の人が「条件によっては、よく利用すると思う」と回答している。
- ・利用する条件として、運行本数について各地域で平均すると、山間部で「約 2.6 本以上／時」、丘陵部で「約 3.6 本以上／時」、平野部で「約 4 本以上／時」であり、料金について各地域で平均すると、山間部で約 250 円、丘陵部で約 180 円、平野部で約 170 円であった。

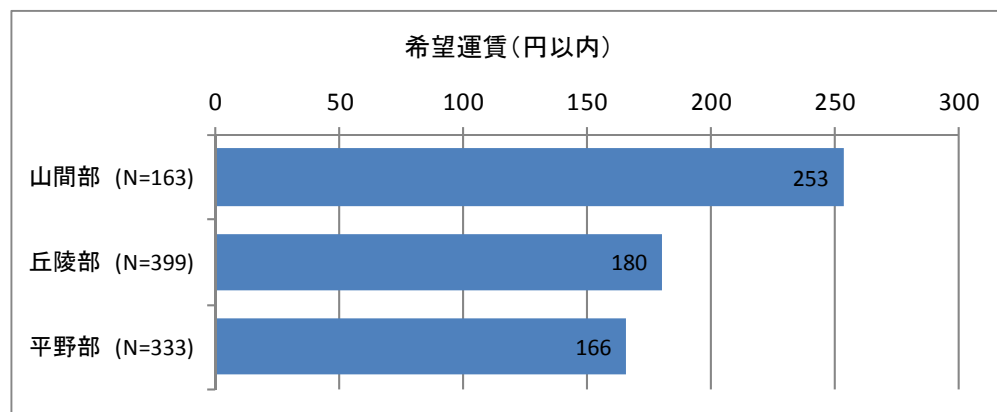
【利用意向】



【利用する運行本数（平均値）】



【利用する料金（平均値）】



茨木市の交通に関するアンケート

ご協力のお願い

日頃より、道路事業をはじめ、市政各般にご協力いただきありがとうございます。
本市では、少子高齢化の進展や環境負荷の低減といった社会情勢のほか、立命館大学の進出、(仮称)JR総持寺駅の建設をはじめ、現在の交通に関する課題など、市をとりまくまちの状況の変化に対応するため、学識経験者や交通事業者等を構成メンバーとする茨木市総合交通戦略策定協議会を設置し、将来のまちづくりに必要な交通の考え方を整理したうえで、具体的な交通施策として「茨木市総合交通戦略」の策定を目指しています。

今回ご協力をお願いいたしますアンケートは、市民のみなさんの交通に関する実態や満足度、ニーズを把握し、「茨木市総合交通戦略」を策定するための基礎資料とすることを目的に実施するものです。

ご多忙とは存じますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。是非とも、率直なご意見をお聞かせください。

なお、アンケートでは具体的な施策を記載している設問もありますが、今後取り組みを検討していくこととしており、現時点で決定しているものではありません。

平成 24 年 11 月 茨木市建設部道路交通課

【ご記入にあたって】

1. このアンケートは、16 歳以上の茨木市民（住民基本台帳から 5,000 人を無作為に抽出）を対象に調査するものです。
2. ご回答は、このアンケートを受け取られた **ご本人がお答えください。**
3. ご回答は、同封のアンケート票に直接ご記入ください。
4. アンケート票のご記入にあたっては、設問ごとに定められた回答数に従い、該当する番号に○印を付けてください。また、() 内には具体的な数値や内容をご記入ください。
5. ご記入いただきましたアンケート票は、返信用封筒にて
11月16日(金)までにご投函ください。 ※切手は不要です。

【調査実施主体・問い合わせ先(返信先)】

茨木市 建設部 道路交通課 交通対策係

電話 072-620-1651 (直通)

072-622-8121 (代表) 内線2822

設問数が多く、お手数をおかけしますがご協力をお願いします。

※ なお、このアンケートの結果はすべて統計的に処理しますので、個人の情報が流出したり、ご迷惑をおかけしたりすることはありません。

【茨木市総合交通戦略策定協議会の開催状況等について、市のホームページに掲載しております。】
<http://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kensetsu/dorokotsu/menu/koutsusenryaku/index.html>

【参考資料2：市民アンケート調査票】

『茨木市の交通に関するアンケート票』

1. あなたご自身のことについて教えてください。

問1. あなたの性別は？	1. 男性 2. 女性
問2. あなたの年齢は？	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上
問3. あなたのご職業は？	1. 会社員 2. 公務員・団体職員 3. 自営業 4. 学生 5. パート・アルバイト 6. 専業主婦（主夫） 7. 無職 8. その他（ ）
問4. あなたのお住まいは？	町丁名・字名まで教えてください（例：大字〇〇、〇〇町、〇〇三丁目 等） 茨木市（ ）
問5. 茨木市に住んで何年ですか？	約（ ）年
問6. あなたの家族構成は？	1. 単身 2. 夫婦のみ 3. 二世帯世帯（親と子など） 4. 三世帯世帯（親と子と孫など） 5. その他（ ）
問7. あなたがお持ちの運転免許は？（該当する全てに○印）	1. 自動車 2. 自動二輪・原付 3. その他（ ） 4. 持っていない
問8. あなたが利用できる自動車等の乗り物をお持ちですか？（該当する全てに○印）	1. 自動車 2. 自動二輪・原付 3. 自転車 4. その他（ ） 5. 持っていない

2. 普段の移動について教えてください。

問9. 外出する頻度を教えてください。（○印は1つだけ）

- | | | |
|----------------|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日（週5日以上） | 2. 週に3～4日程度 | 3. 週に1～2日程度 |
| 4. 月に1～2日程度 | 5. 月に1日未満 | |

問10. 各交通手段を利用する頻度を教えてください。（○印はそれぞれ1つだけ）

※全ての交通手段についてお答えください。

交 通 手 段	ご回答					
	ほぼ毎日 （週5日以上）	週に3～4日 程度	週に1～2日 程度	月に1～2日 程度	月に1日 未満	利用しない
① 徒歩	1	2	3	4	5	6
② 自転車	1	2	3	4	5	6
③ 自動二輪・原付	1	2	3	4	5	6
④ 自動車（自分で運転）	1	2	3	4	5	6
⑤ 自動車（送迎）	1	2	3	4	5	6
⑥ 鉄道	1	2	3	4	5	6
⑦ バス	1	2	3	4	5	6
⑧ タクシー	1	2	3	4	5	6
⑨ その他（ ）	1	2	3	4	5	6

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である

・鉄道駅まで 無理なく約 () m または 約 () 分 なら歩ける

・バス停まで 無理なく約 () m または 約 () 分 なら歩ける

1. よくある 2. たまにある 3. 特にない

↓

- ・具体例があれば教えてください。

例：〇〇に行くことができなかった。〇〇に行けなかったので、代わりに〇〇へ行った。 など

[]

1. () バス停まで約 () m または 約 () 分
2. 分からない

1. 満足している	2. やや満足している	3. どちらでもない
4. やや不満である	5. 不満である	6. 利用しないので分からない

1. バス以外の交通手段がない	2. バスが最も安く移動できる	3. バスが最も早く移動できる
4. バス停までの距離が近い	5. バスを利用すると安全に移動できる	
6. 環境にやさしい移動方法だから	7. その他 ()	

問 19. バス停までは、どの交通手段を最もよく利用しますか？（○印は1つだけ）

1. 徒歩のみ	2. 自転車	3. 自動二輪・原付
4. 自動車（自分で運転）	5. 自動車（送迎）	6. タクシー
7. その他（ ）		

1. 通勤	2. 通学	3. 出張や営業
4. 買い物・食事	5. 通院	6. 塾・習い事・会合
7. 娯楽・レジャー	8. その他 ()	

() バス停と () バス停の区間

それぞれの項目について教えてください。

条 件	具体的な内容 (それぞれ○印は1つだけ)
① 運行本数の増加	1. 1 時間に () 本以上運行してほしい
	2. 現状で満足している
② 時刻表どおりの運行	1. 遅れ時間が最大 () 分未満にしてほしい
	2. 現状で満足している
③ 運賃	1. 1 回の移動で () 円以内にしてほしい
	2. 現状で満足している
④ 乗り場や路線の情報 (運行時刻、行先、乗り方等)	1. 分かりやすくして欲しい (具体的には)
	2. 現状で満足している
⑤ バスの乗降や乗り換え時の バリアフリー化 (段差解消、手すり設置、バス 停前の点字ブロック整備 等)	1. バリアフリーにして欲しい (具体的には)
	2. 現状で満足している
⑥ 行きたい場所に運行	1. バスが () へ運行してほしい
	2. 現状で満足している
⑦ バス停周辺に駐輪場を設置	1. 駐輪場を () バス停に設置してほしい
	2. 現状で満足している
⑧ 始発時間を早く	1. 始発時間が (:) 頃から運行してほしい
	2. 現状で満足している
⑨ 終発時間を遅く	1. 終発時間が (:) 頃まで運行してほしい
	2. 現状で満足している
⑩ その他を改善	1. ()
	2. 特になし

3

問 23. どのような理由で、路線バスを利用しませんか？（該当する全てに○印）

- 問 24. 路線バスの利用環境について、具体的に何が改善されれば利用しますか？
それぞれの項目について教えてください。

問25. 普段は、ご自宅からどこへ移動することが多いですか？

4

問26. 外出する際の、主な移動目的を教えてください。(該当する全てに○印)

1. 通勤 2. 通学 3. 出張や営業
4. 買い物・食事 5. 通院 6. 塾・習い事・会合
7. 娯楽・レジャー 8 その他（ ）

4. その他の交通手段について教えてください。

問27. 各交通手段の利用環境に満足していますか？

また「やや不満である」、「不満である」を選択した方は、不満の内容を教えてください。

※全ての交通手段についてお答えください。

	利用環境の満足度 (それぞれ○印は1つだけ)	不満に思う内容 (該当する全てに○印)
徒歩	1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である 6. 利用しないので分からない	1. 歩道がない、狭いなど危険な道路が多い 2. 横断歩道がなく、道路の横断が危険な箇所が多い 3. 段差が多く、歩きづらい道路が多い 4. 自転車マナーが悪く、接触しそうで危ない 5. その他 ()
自転車	1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である 6. 利用しないので分からない	1. 自転車が安全に通行できる道路が少ない 2. 段差が多くて通行しづらい道路が多い 3. 駐輪場がない、少ない 4. その他 ()
自動車	1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である 6. 利用しないので分からない	1. 渋滞のため、時間がかかることがある 2. 道路の幅が狭く、歩行者や自転車と接触しそうになる 3. 交差点で交通量が多いのに右折レーンがない 4. 駐車場が少ない 5. その他 ()
タクシー	1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である 6. 利用しないので分からない	1. 運賃が高い 2. タクシーに乗車するまでの待ち時間が長い 3. その他 ()
鉄道	1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない 4. やや不満である 5. 不満である 6. 利用しないので分からない	1. 駅まで行く交通手段がない 2. 運行本数が少ない 3. 駅やその周辺がバリアフリーに対応していない 4. 混雑していて座れない 5. 駅に駐車場がない・少ない 6. 駅に駐輪場がない・少ない 7. バスと鉄道等の乗継が不便 8. 始発便が遅い、終発便が早い 9. 駅の周辺が混雑しており、駅に行くまでに時間がかかる 10. その他 ()

5. 将来の茨木市の交通について教えてください。

問28. 今後必要と思う、交通に関する取り組みについて、あなたが特に重要と考えるものを教えてください。（重要と思うものを3つまで○印）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 乗りやすく、使いやすいバスの運行 | 2. 鉄道と他の交通手段の乗継利便性を向上 |
| 3. 安全な歩行者空間の整備 | 4. 安全な自転車空間の整備 |
| 5. 渋滞を緩和するための道路の整備 | 6. 道路や駅のバリアフリー化 |
| 7. 自転車の走行マナーやルールの啓発 | 8. 自動車利用を控えるための意識啓発 |
| 9. その他（ ） | |

問29. 交通に関する取り組みを実施する際、一方が便利になることで、別のことが不便になる等の相反することがあります。以下の想定されるケースで、取り組みを実施することに賛成か反対について、あなたのお考えを教えてください。（それぞれ○印は1つだけ）

想定されるケース		賛成	反対
①	市内の主要な道路で、車線数を減らして自転車通行環境を整備する。 その結果、自転車は安全・快適に通行できますが、道路の混雑が悪化します。	1	2
②	街路樹や植樹帯を無くし、広い歩道や自転車通行環境を整備する。 その結果、歩行者や自転車は安全に通行できますが、まちなかの緑が減少します。	1	2
③	片側 1 車線ずつの 2 車線道路を、1 車線の一方通行にして、広い歩道や自転車通行環境を整備する。 その結果、歩行者や自転車は安全に通行できますが、自動車で沿道の住宅や商店へ行くためには、迂回が必要になり利便性が低下します。	1	2
④	歩道の拡幅や自転車通行環境の整備を行うよりも、歩行者と自転車や自転車同士 の事故の減少に向けた意識啓発やマナー教育を重視する。 その結果、歩行者の安全性は向上しますが、歩行者や自転車の通行のしやすさは 変わりません。	1	2
⑤	バス利用者の利便性向上について、高齢者や障害者など交通弱者に重点を置いた 取り組み（ノンステップ車両、駅前のバリアフリー化、料金割引等）を行う。 その結果、交通弱者の利用促進は期待できますが、必ずしも市民全体の利便性向 上にはつながるとは言えません。	1	2
⑥	朝の通勤・通学時間帯に、鉄道駅周辺の一部の道路についてバスやタクシーなど 公共交通以外の自動車の通行を制限する。 その結果、駅へ到着する公共交通の定時性は確保されますが、一般の自動車は駅 へアクセスできなくなります。	1	2

問30. 市内移動に関して、将来的な移動手段の確保について不安に思うことはありますか？
(○印は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 不安は感じない | 2. 少し不安を感じる | 3. 強い不安を感じる |
|------------|-------------|-------------|

→ 『問32』へお進みください

→ 『問31』へお進みください

問31. 上記の問30で、「少し不安を感じる」、「強い不安を感じる」を選択した方は、どのようなことを不安に感じているか教えてください。(該当する全てに○印)

- | |
|---------------------------|
| 1. 自分や家族が自動車を運転できなくなる |
| 2. 公共交通の利便性が悪化する(減便・廃止など) |
| 3. 経済的な負担の増加(自動車税、運賃 など) |
| 4. 移動に関するバリア(階段、段差 など)の存在 |
| 5. その他 () |

問32. 今後、より利用しやすい公共交通にしていくためには、誰が取り組みを行っていくことが重要だと思いますか？(○印は1つだけ)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 行政や交通事業者だけで考えるべき |
| 2. 行政や交通事業者が主体となり、住民も参加して考えていくべき |
| 3. 地域住民が主体となって考え、行政や交通事業者は協力すべき |
| 4. 分からない |
| 5. その他 () |

問33. 公共交通の確保、利用サービスの向上のために税金を投入することについて、どのように思われますか？(○印は1つだけ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 積極的に投入をしていくべき |
| 2. ある程度は投入しても構わないが、基本は民間に任せるべき |
| 3. 最低限必要な路線維持の場合にのみ、投入しても構わない |
| 4. 民間に全てを任せるべきで、税金を投入する必要はない |
| 5. 分からない |

問34. 市内中心部の主要な施設や鉄道駅を循環するバスがあれば利用したいと思いますか？
(○印は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 条件によっては、よく利用すると思う | } → 『問35』へお進みください |
| 2. 条件によっては、少しは利用すると思う | |
| 3. あまり利用しないと思う | } → 『問36』へお進みください |
| 4. 全く利用しないと思う | |

問35. 上記の間34で、「条件によっては、よく（少しは）利用すると思う」を選択した方は、利用するためには、どのような条件が必要ですか？必要と思う条件をお答えください。

条 件	具体的な内容
① 運行本数	1 時間に（ ）本以上運行していれば利用する
② 運賃	1 回の乗車が（ ）円程度なら利用する
③ 行先（施設名） ※最大3つまで記載してください	（ ） （ ） （ ） に行くなら利用する
④ その他	（ ）なら利用する

6. 最後に、あなたの自由なご意見を教えてください。

問36. 今後の茨木市の交通について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

(ほか、各設問で「やや不満である」「不満である」等を回答された場合は、その理由や不満に思う内容についてもお書きください。)

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a vertical margin line on the left side, creating a narrow left margin. The paper appears to be from a notebook or a standard lined paper pad.

以上で質問は終わりです。

ご協力ありがとうございました